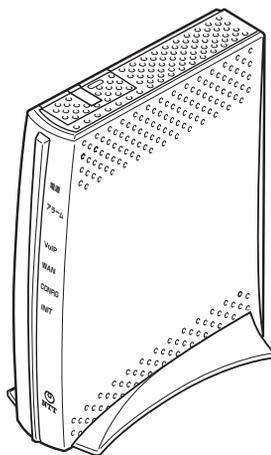


## 「ひかり電話対応VoIPアダプタ」 **AD-200NE**

### 取扱説明書

このたびは、「ひかり電話対応VoIPアダプタ」AD-200NEをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

## 本書中のマーク説明

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招く内容を示しています。
  <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

△記号は、注意事項を示しています。



注意



発火注意



感電注意

○記号は、してはいけない内容を示しています。



禁止



火気禁止



風呂等での  
使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

●記号は、実行しなければならない内容を示しています。



電源プラグ  
を抜く

## ご使用にあたって

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。  
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧したあとは、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

### 【返却される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

## 警告

### 設置場所

- **風呂、シャワー室への設置禁止**  
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。  
漏電して、火災・感電の原因となります。
- **水のかかる場所への設置禁止**  
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。  
漏電して、火災・感電の原因となります。
- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**
- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
  - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
  - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
  - ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
  - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
  - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。**  
本商品に無線LANカードを装着してご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。



## 警告

### こんなときは

- **発煙した場合**  
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- **水が装置内部に入った場合**  
万一、本商品やケーブル、モジュージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。
- **異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合**  
本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- **異物が装置内部に入った場合**  
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- **破損した場合**  
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- **電源アダプタの取り扱い注意**  
付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。  
また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



## 警告

### ● 電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。



### ● 電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



### ● 電源コードの取り扱い注意

付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。

重い物を載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



## 禁止事項

### ● 延長コード利用の禁止

電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



### ● たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



### ● 商用電源以外の使用禁止

AC100 ± 10V (50/60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差し込みが2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



## ⚠ 警告

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 分解改造の禁止  
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ぬらすことの禁止  
本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。
- ぬれた手で操作禁止  
ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



### その他のご注意

- 異物を入れないための注意  
本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。  
重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。  
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



## ⚠ 注意

- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。  
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



### 設置場所

- **火気のそばへの設置禁止**

本商品やケーブル、モジュージャックや電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- **温度の高い場所への設置禁止**

直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- **温度の低い場所への設置禁止**

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



- **湿度の高い場所への設置禁止**

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度85%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



- **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- **不安定な場所への設置禁止**

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- **本商品を逆さまに置かないでください。**



## ⚠ 注意

### ● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- ・ 横向きに寝かせる
- ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける
- ・ 毛布や布団をかぶせる



### ● 横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



### ● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



### ● 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。



### ● 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。



## 禁止事項

### ● 乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



## 電源

### ● プラグの取り扱い注意

電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



## ⚠ 注意

- 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10秒以上あけてから差し込んでください。
- 電源アダプタ（電源プラグ）の清掃  
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。  
清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。
- 長期不在時の注意  
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。
- 無線LANカード（SC-32NE）の抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および装着したカードが故障することがあります。

### その他のご注意

- 移動させるときの注意  
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 雷のときの注意  
落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。  
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。  
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。
- 本書にしたがって接続してください。  
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

**STOP** お願い

**設置場所**

- **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。**
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・特定無線局や移動通信体のある屋内
  - ・盗難防止装置など 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本商品は、スタンドを取り付けて設置してください。転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。**
- **本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)**
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1 m以上離してお使いください。**
- **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**
- **本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。**
  - ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

**禁止事項**

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

**日頃のお手入れ**

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。  
ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。  
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

# ご利用前の注意事項

## 通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。

## 電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、本商品へのひかり電話設定が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にブッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話できません。
- 「まるごと設定ツール」により本商品に設定を行うと、本商品が再起動します。ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「まるごと設定ツール」から本商品を再起動できません。ひかり電話のご使用やパソコンなどの通信をしていない状態で、本商品の設定を行ってください。
- 「Web 設定」や電話機からの設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- 「Web 設定」、電話機からの設定により、ひかり電話に対応した IP 端末などの通信が切断される場合があります。LAN 側の設定や無線設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。

- 
- 緊急通報使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」など本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、緊急通報使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
  - 本商品に接続した電話機の ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）
  - 本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯にあわせて、自動的にファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新機能の詳細については、本書の第 5 章「本商品のバージョンアップ」よりご確認ください。なお、ファームウェアの自動更新について、以下の点にご注意ください。
    - ・ ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。その場合は、使用後一定時間たってからファームウェアの更新を行ってください。
    - ・ ファームウェアの更新中（約 1 分間）は、ひかり電話がご利用になれません。緊急通報などもご利用になれませんのでご注意ください。

### お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。
- 本商品を返却される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

### 有線 LAN に関する注意事項

- 最大 100Mbps (規格値) および最大 10Mbps (規格値) は 100BASE-TX および 10BASE-T の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) を示すものではありません。

### 無線 LAN に関する注意事項

- 最大 54Mbps (規格値) や最大 11Mbps (規格値) は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件 (通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など) により大きく変動します。
- IEEE802.11a (W52) の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- IEEE802.11a (W52) は 5.2GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11b および IEEE802.11g を使用する機器が混在している場合は、使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。

## 電波に関するご注意 (SC-32NE 装着時にお読みください)

### 無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品を IEEE802.11b、IEEE802.11g で利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品を IEEE802.11a で利用時は、5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品<sup>(\*)</sup>は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
  - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - ・異なる階の部屋どうし
- 本商品<sup>(\*)</sup>と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、データ転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品<sup>(\*)</sup>をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品<sup>(\*)</sup>を 5.2GHz 帯で使用する場合は、屋外で使用しないでください。法令により 5.2GHz 帯の無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz 帯の電波を無効にしてください。
- 本商品<sup>(\*)</sup>は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・本商品<sup>(\*)</sup>を分解／改造すること
- 本商品<sup>(\*)</sup>は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品<sup>(\*)</sup>は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、想定干渉距離は 40 m です。

本商品<sup>(\*)</sup>に表示した 

2.4	DS/OF	4
-----	-------	---

 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40 m 以下
■ ■ ■	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品<sup>(\*)</sup>」はここでは、SC-32NE 装着時を示します。

**無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意  
(SC-32NE 装着時にお読みください)**

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

**●通信内容を盗み見られる**

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

**●不正に侵入される**

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、「7-10 お客様サポートのご案内」（●7-27 ページ）記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
ご利用前の注意事項	13
目次	18
「機能詳細ガイド」目次	21
マニュアルの読み進めかた	22
「AD-200NE 専用 CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた	23

## 1 章 最初に確認する

1-1 セットを確認してください	1-2
1-2 各部の名前	1-4
1-3 あらかじめ確認してください	1-6
パソコンの準備	1-6
対応 OS の確認と Web ブラウザの準備	1-7

## 2 章 本商品を設置する

2-1 設置・接続	2-2
スタンドを付ける	2-2
本商品を設置する	2-2
回線に接続する	2-3

## 3 章 ひかり電話の使いかた

3-1 ひかり電話の使いかた	3-2
ひかり電話のかけかた	3-2
電話の受けかた	3-3
ひかり電話で発着信できるサービス	3-4
接続可否番号一覧	3-4
内線通話	3-5
内線転送	3-5
3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する	3-6
キャッチホン	3-6
ナンバー・ディスプレイ	3-8
発信者情報（番号）の通知について	3-9
複数チャンネルを利用する	3-9
追加番号を利用する	3-10

3-3	ひかり電話のいろいろな使いかた	3-11
	内線番号設定	3-11
	ひかり電話の電話番号	3-11
	キャッチホン・ディスプレイ	3-12
	割込音通知	3-12
	個別着信	3-12
	一斉着信	3-13
	着信鳴り分け	3-13
	モデムダイヤルイン	3-13
	優先着信ポート	3-14
	指定着信機能	3-16
	通話中の相手先からのメディア変更機能	3-17
3-4	パソコンからひかり電話の設定をする	3-18
3-5	電話機からひかり電話の設定をする	3-27
3-6	複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する	3-32
	ファクスと電話で使い分けたいときには	3-32
	事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには	3-33
	2世帯で電話を鳴り分けて使うには	3-34
	ひかり電話用無線 IP 電話機などを利用したいときには	3-35
	指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに 着信させたいときには	3-36
	本商品にビジネスホンシステム／ホームテレホンシステムを接続して 使用するには	3-37
4章	無線 LAN のご利用について	
4-1	設定方法を確認してください	4-2
4-2	無線 LAN 設定の流れ	4-3
4-3	本商品への無線 LAN カードの取り付け	4-4
4-4	本商品へ無線 LAN の設定をする	4-6
	「Web 設定」を起動する	4-6
	無線 LAN の設定をする	4-7
5章	本商品のバージョンアップ	
5-1	本商品のバージョンアップの流れ	5-2
5-2	バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする	5-3
	バージョンアップお知らせ機能の機能概要	5-3
	ファームウェアの自動更新	5-5
5-3	当社ホームページよりファイルをダウンロードして バージョンアップする	5-7
	「Web 設定」の [メンテナンス] - [ファームウェア更新] からファイルを指定してバージョンアップする	5-7

5-4	ファームウェア情報を確認する	5-8
	本商品のファームウェアバージョンやファームウェア更新種別を 確認する	5-8
<b>6章</b>	<b>故障かな?と思ったら</b>	
6-1	設置に関するトラブル	6-2
6-2	ご利用開始後のトラブル	6-6
<b>7章</b>	<b>付録</b>	
7-1	パソコンのネットワーク設定	7-2
	Windows® 7/Windows Vista® をご利用の場合	7-3
	Windows® XP をご利用の場合	7-5
	Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)	7-7
	JavaScript™ の設定をする (Windows® 共通)	7-8
	Mac OS X をご利用の場合	7-10
	JavaScript™ の設定をする (Mac OS)	7-11
7-2	ひかり電話用無線 IP 電話機などの設定をする	7-12
7-3	設定値の保存・復元	7-13
	設定値の保存	7-13
	設定値の復元	7-13
7-4	本商品の初期化	7-15
7-5	電話機からの設定一覧	7-16
7-6	用語集	7-18
7-7	索引	7-23
7-8	仕様一覧	7-25
7-9	インタフェース	7-26
7-10	お客様サポートのご案内	7-27

# 「機能詳細ガイド」 目次

付属の「AD-200NE 専用 CD-ROM」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、23 ページをご覧ください。

## 1. 機能詳細説明

### 機能一覧

- －電話機能－
  - ひかり電話
- －ネットワーク機能－
  - IP マスカレード
  - 静的 IP マスカレード
  - DHCP サーバ
- －無線機能－
  - IEEE802.11a 無線 LAN
  - IEEE802.11b 無線 LAN
  - IEEE802.11g 無線 LAN
  - Super AG
  - 暗号化
  - MAC アドレスフィルタリング
  - 無線ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能
  - 無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)
  - 自動無線チャンネル設定
  - 省電力機能
  - マルチキャスト伝送速度設定
  - 無線優先制御機能
  - 電波強度測定
- －その他の機能－
  - 管理者パスワードの変更
  - ファームウェア更新
  - ファームウェア情報表示
  - 情報表示 (装置情報、状態表示)
  - 通信情報ログ

## 2. Web 設定

## 3. 無線機能の使いかた

- 無線機能の使いかた
  - 無線 LAN カードの使いかた
  - 無線セキュリティ

## 4. ひかり電話の使いかた

## 5. その他 (付録)

# マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

●**最初にお読みください**

本商品の接続、ひかり電話を使えるようにするまでの手順をわかりやすく説明しています。

●**取扱説明書（本書）**

本商品の接続のしかた、無線 LAN の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●**機能詳細ガイド（：HTML ファイル）**

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■**取扱説明書（本書）の読み進めかた**

本商品を使用してひかり電話をご利用になり、無線 LAN に接続するまでの流れは、下記ようになります。

**付属品の確認をします**

「1-1 セットを確認してください」



**取り付けます**

「2章 本商品を設置する」



**ひかり電話を利用します**

「3章 ひかり電話の使いかた」



**無線 LAN の設定をします**

「4章 無線 LAN のご利用について」

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。

※本書での  の記載は設定中などに特に確認していただきたい注意事項です。

## 「AD-200NE 専用 CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた

1

### 「AD-200NE 専用 CD-ROM」をパソコンにセットする

※Windows®をご利用の場合は、「まるごと設定ツール」のインストーラが自動的に起動します。

「まるごと設定ツール」をインストールすると、「機能詳細ガイド」も自動的にインストールされます。その場合は、[スタート](Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [AD-200NE まるごと設定ツール] - [機能詳細ガイド] をクリックしてください。

※「まるごと設定ツール」をご利用になれる OS は、Windows®7、Windows Vista® および Windows® XP です。

※「機能詳細ガイド」を CD-ROM からご覧になる場合は、「まるごと設定ツール」のインストーラの [キャンセル] をクリックしてインストーラを終了します。

2

### Web ブラウザ (Internet Explorer® など) を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

Windows®, Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Vista® は、オペレーティングシステムです。

Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

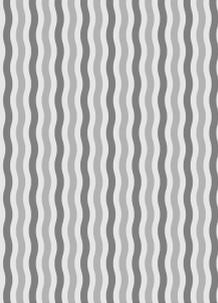
Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

付属品の「AD-200NE 専用 CD-ROM」は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。

付属品の「AD-200NE 専用 CD-ROM」はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる変更も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

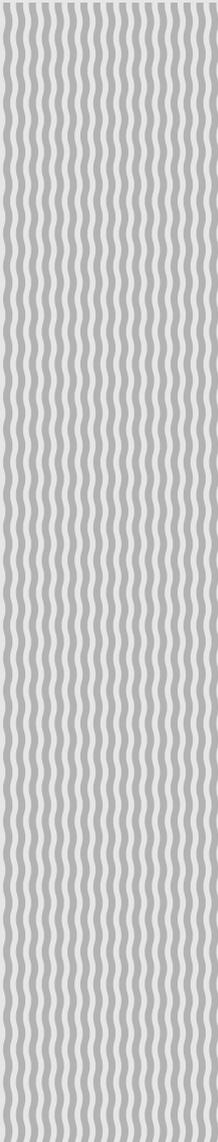




# 1

## 最初に確認する

### 1



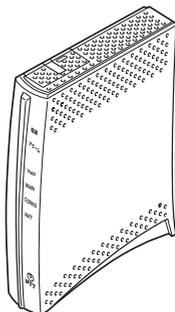
この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

- 1-1 セットを確認してください…………… 1-2
- 1-2 各部の名前…………… 1-4
- 1-3 あらかじめ確認してください…………… 1-6

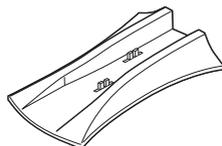
# 1-1 セットを確認してください

## ■本商品に同梱されているもの

### <本体>

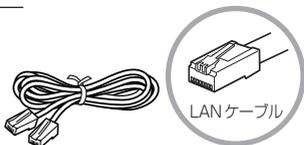


「ひかり電話対応VoIPアダプタ」  
AD-200NE (1台)



スタンド (1台)

### <付属品>



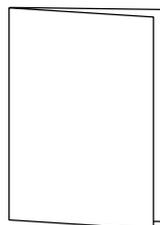
LANケーブル (1本)



電源アダプタ (1式)



取扱説明書  
(本書1冊)



最初にお読みください  
(1枚)



AD-200NE  
専用CD-ROM (1枚)



NTT通信機器お取扱  
相談センターシール (1枚)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

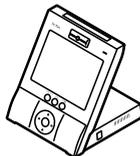
## ■お客様にご用意いただくもの

### <ひかり電話のご利用に必要なもの>

#### ●電話機



#### ●有線 IP 端末



※電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「\*」や「#」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。

※ホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などを直接接続できません。

※電話機コードもご準備ください。

#### ●開通のご案内

#### ●加入者網終端装置 (CTU) など当社が設置した機器

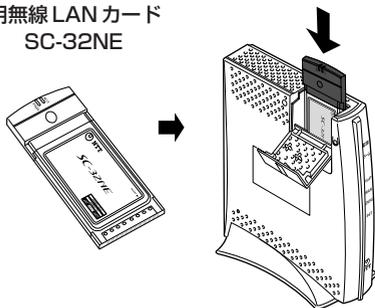
### <設定変更に必要なもの>

#### ●LAN ポートを持ったパソコン



### <ひかり電話に対応した無線 IP 端末のご利用に必要なもの>

#### ●専用無線 LAN カード SC-32NE

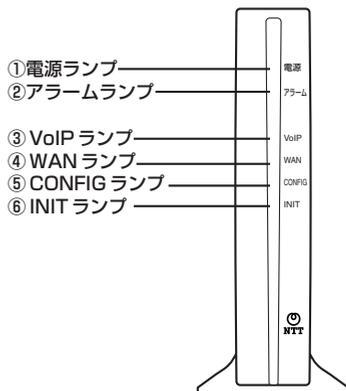


※本商品の側面の拡張カードスロットに装着して使用します。

# 1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

## ●前面図



## 【ランプ表示】

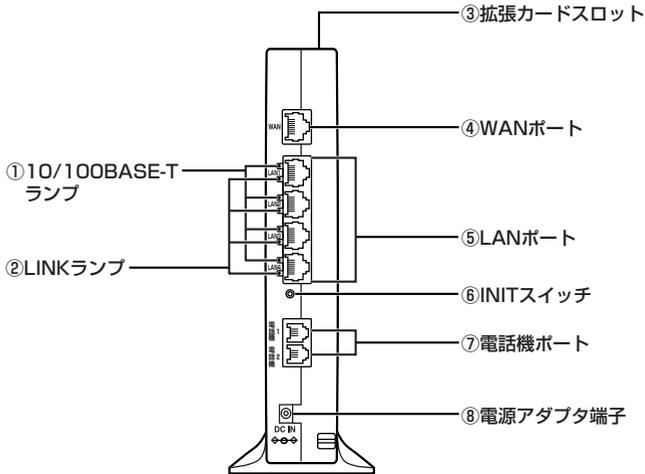
ランプの名称	表示 (色)		機能説明
① 電源ランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
② アラームランプ	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。 ※「6章 故障かな?と思ったら」(●6-1 ページ)を参照してください。※1
③ VoIPランプ	—	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
④ WANランプ	—	消灯	WAN回線が利用できません。
	緑	点灯	WAN回線が利用できます。
		点滅	WAN回線でデータ通信中です。
⑤ CONFIGランプ	—	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定が失敗しました。(認証エラー)
		点滅	ひかり電話の設定が失敗しました。(その他エラー)
⑥ INITランプ	—	消灯	通常の状態です。
	赤	点灯	工場出荷状態(初期化された状態)です。※1※2

※ 本商品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。

※1 ファームウェアのバージョンアップ中はアラームランプとINITランプが赤点灯します。

※2 本商品が工場出荷状態(INITランプ赤点灯)でも、電源を入れたあと、VoIPランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web設定」を行うとINITランプは消灯します。

## ●背面図



## 【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		機能説明
① 10/100BASE-T ランプ (4個)	—	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	緑	点灯	100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ (4個)	—	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

## 【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	—	無線 LAN カード (「SC-32NE」) を装着します。 (☛4-4 ページ)
④ WAN ポート	WAN	LAN ケーブルを使用して加入者網終端装置 (CTU) の LAN ポートと接続するためのポートです。
⑤ LAN ポート	LAN1 ~ LAN4	LAN ケーブルを使用して有線 IP 端末やパソコン (※ 1) と接続するためのポートです。
⑥ INIT スイッチ	—	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑦ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。(電話機コードは付属していません。)
⑧ 電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

※ 1 本商品の設定を変更する場合に接続します。

1

最初に確認する



## 対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

本商品は下記の OS に対応しています。(2011年6月現在)

・ Web ブラウザによる設定を行う場合

Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP、Mac OS X

・ 「まるごと設定ツール」を利用して設定を行う場合

Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP

「まるごと設定ツール」では本商品に無線 LAN カードを装着し、ひかり電話に対応した無線 IP 端末を接続するための設定を行います。

※最新の対応状況については、当社ホームページ (<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/support/correspond/index.html>) を確認してください。

本書では、Web ブラウザによる設定方法を説明します。

Web ブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。(2011年6月現在)

Windows® 7 (SP1 を含む) の場合

・ Internet Explorer® 8.0 以上に対応

Windows Vista® (SP2) の場合

・ Internet Explorer® 7.0 以上に対応

Windows® XP (SP3) の場合

・ Internet Explorer® 6.0 SP2 以上に対応

Mac OS X の場合

・ Safari 3.0.4 以上に対応

※各 OS に準拠したブラウザをご利用ください。

※本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

※本書では、Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略として使用しています。

● Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。(☛7-7 ページ)

● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効にしてください。(Windows® の場合 ☛7-8 ページ、Mac OS の場合 ☛7-11 ページ)

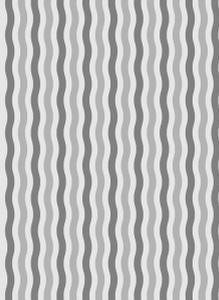
● ダイアルアップの設定がある場合は、パソコンの [インターネットオプション] の [接続] で [ダイヤルしない] を選択してください。(☛7-7 ページ)

● お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

(次ページに続く)

- 
- Web ブラウザの「戻る」、「進む」、[更新] ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。
  - Mac OS で Safari をご利用の場合、「テキストのみ拡大／縮小」にチェックを入れないと正しく表示ができないことがあります。

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによってレイアウトやボタン名称などが異なります。



# 2

## 本商品を設置する

本商品の設置・接続をします。

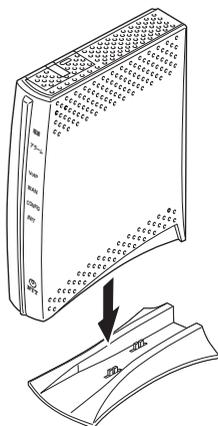
2

2-1 設置・接続 .....2-2

## 2-1 設置・接続

### スタンドを付ける

図のように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご利用ください。

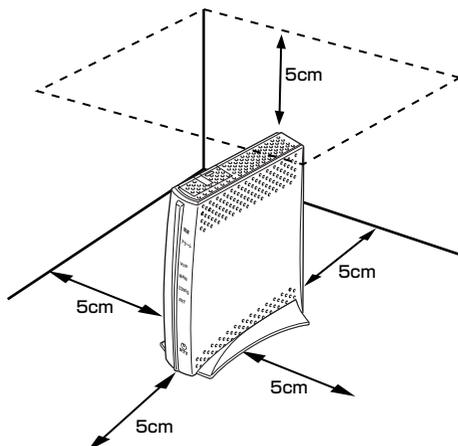


**!** 注意

本商品は横置きでの  
使用はできません。

### 本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



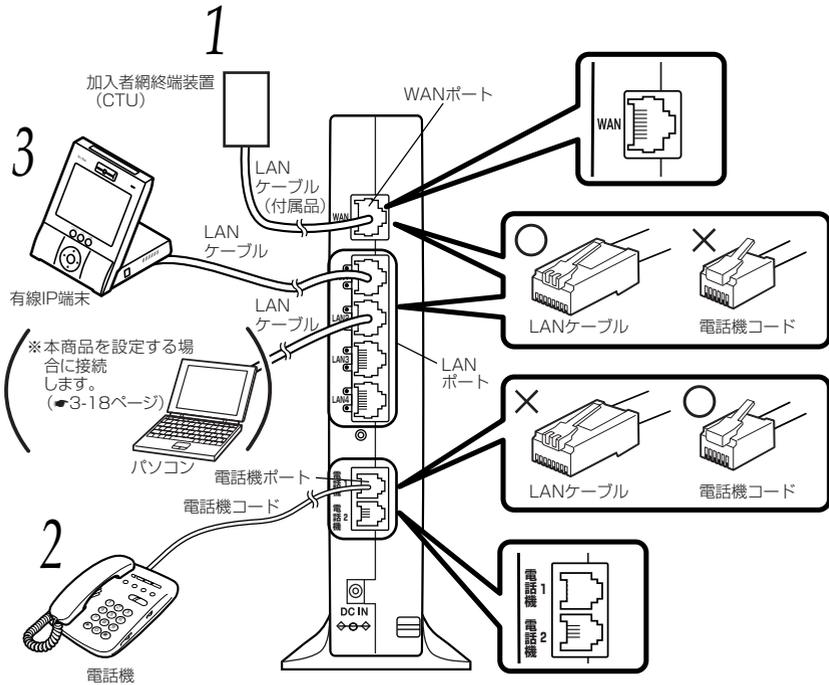
**!** 注意

換気が悪くなると本商  
品内部の温度が上がり、  
故障の原因になります。

冷蔵庫やTVなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

## 回線に接続する

本商品を回線に接続します。



### 1 本商品の WAN ポートと加入者網終端装置 (CTU) を LAN ケーブルで接続する

※本商品と加入者網終端装置 (CTU) の間に HUB などを接続しないでください。

### 2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

### 3 有線 IP 端末を接続する

本商品の LAN ポートと有線 IP 端末を接続します。  
有線 IP 端末、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。  
※有線 IP 端末をご利用になる場合のみ接続してください。

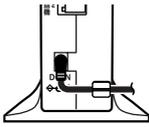
2

本商品を設置する

(次ページに続く)

4

## 電源アダプタのコードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。



**警告**

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5

## 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6

## VoIP ランプが緑点灯することを確認する

VoIP ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。

電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））

※ひかり電話サービス契約がお済みでない場合は、VoIP ランプは消灯のままとなります。



最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。

バージョンアップ中は、本商品前面のアラームランプと INIT ランプが同時に赤点灯します。バージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。

詳細については「5-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛5-3 ページ）を参照してください。



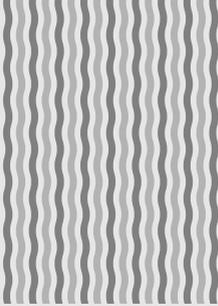
ひかり電話をご利用になるには「3章 ひかり電話の使いかた」（☛3-1 ページ）を、本商品に専用無線 LAN カード SC-32NE を装着してご利用になる場合は「4章 無線 LAN のご利用について」（☛4-1 ページ）をご覧ください。



### お知らせ

- インターネットへの接続や、NTT 西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、加入者網終端装置（CTU）にパソコンを接続します。詳しくは最新の「加入者網終端装置（CTU）ガイドブック」をご参照ください。
- 本商品の設定を変更するときに限り、本商品の LAN ポートにパソコンを接続します。
- ひかり電話に対応していない IP 端末を接続した場合、正常に動作しない場合があります。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「㊟」または「㊞」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などを直接接続できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- 有線 IP 端末の電源を入れ、本商品背面の有線 IP 端末を接続した LAN ポートの LINK ランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、VoIP ランプ、WAN ランプ、CONFIG ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ランプの状態が異なる場合は、本書の「6 章 故障かな？と思ったら」（●6-1 ページ）をご覧ください。
- 本商品を設定する場合、本商品の LAN ポートにパソコンを接続します。本商品が起動してからパソコンの電源を入れ、本商品背面にあるパソコンを接続した LAN ポートの LINK ランプが緑点灯することを確認してください。LAN ポートに空きがないときは、LAN ポートに接続している有線 IP 端末を外して、パソコンを接続してください。





# 3

## ひかり電話の使いかた

ひかり電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

- 3-1 ひかり電話の使いかた ……………3-2
- 3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する ……3-6
- 3-3 ひかり電話のいろいろな使いかた ……3-11
- 3-4 パソコンからひかり電話の設定をする …3-18
- 3-5 電話機からひかり電話の設定をする ……3-27
- 3-6 複数の電話機での同時着信や  
使い分けを設定する ……………3-32



**お知らせ**

- 本商品前面のVoIPランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用できません。(「6章 故障かな?と思ったら」(6-1ページ)を参照してください。)
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。(設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。)
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル(ハンドセットを置いたままダイヤルする機能)を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「**Ⓢ**」(シャープ)を押してください。
- 指定着信番号を指定して電話をかける場合や、番号に続けて「**Ⓢ**」(シャープ)を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて2秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
- 左記手順②で「ツー」という音のかわりに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合は、最新版のファームウェアが公開されています。「**✖ ✖ ✖ ① ①**」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。

**電話の受けかた**

- ①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。
- ②通話が終わったらハンドセットを置きます。

**お知らせ**

- 「Web設定」や電話機からの設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音(着信中のナンバー・ディスプレイ表示など)、通信が途切れる場合があります。
- 緊急通報使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」など本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、緊急通報使用終了後一定時間たってから再度操作を行ってください。

## ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

- ・ NTT 東日本／西日本の加入電話およびISDN
- ・ IP電話サービス (050IP 電話サービス)
- ・ 国際電話 (世界約 200 の国と地域)
- ・ 他社の提供する OAB ～ J 電話サービス
- ・ 携帯電話、PHS

### 接続できない電話番号※

・ ひかり電話では、加入電話等と異なり、下記「接続可否番号一覧」のとおり接続できない番号があります。

お申し込み・ご利用の際は、ご注意ください。

・ ひかり電話から 0039 等の '00' から始まる電気通信事業者を指定した発信はできません。

・ ひかり電話からシャープダイヤル (# +4 桁の番号サービス) への発信はできません。

(2011 年 6 月現在)

※最新の対応状況については、当社ホームページ (<http://fleets-w.com/hikaridenwa/ryuuijokou/>) を確認してください。

## 接続可否番号一覧

ひかり電話で接続できる番号は以下の通りです。(2011 年 6 月現在)

電話番号	サービス名など	接続可否	電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーダイヤル／フリーアクセス等	○ ※1	117	時報	○
0170	伝言ダイヤル	×	118	海上保安 (緊急通報)	○
0180	テレゴンダ／テレドーム／テータドーム	×	119	消防 (緊急通報)	○
0570	ナビダイヤル	○ ※2	121	クレジット通話サービス	×
0800	フリーダイヤル／フリーアクセス等	○ ※1	122	固定優先解除	×
0910	公専接続	×	125	でんわ会議	×
0990	ダイヤルQ2	×	134	ダイヤルQ2パスワード	×
	災害義援金募集番組	○ ※3	135	特定番号通知サービス	○
010	国際電話 ※4	○	136	ナンバー・アナウンス	×
020	ボケベル	×	141	でんわばん、二重番号サービス	×
050	IP電話	○	142	ボイスワープ	○
060	UPT (eコール)	×	144	迷惑電話おことわりサービス	○
070	PHS ※5	○	145	キャッチホン2	×
080	携帯電話	○	146	キャッチホン2	×
090	携帯電話	○	147	ボイスワープセレクト	○
100	100番通話	×	148	ナンバー・リクエスト	○
102	非常・緊急扱い電話	×	151	メンバーズネット	×
104	番号案内 ※6	○	152	メンバーズネット	×
106	コレクトコール (コミュニケーション扱い)	×	159	あいたらお知らせ	×
108	自動コレクトコール	×	161	ファクシミリ通信網	×
110	警察 (緊急通報)	○	162	ファクシミリ通信網	×
111	線路試験受付	×	165	メール送受信	×
112	共同加入者受付	×	171	災害用伝言ダイヤル「171」	○
113	故障受付	○	177	天気予報	○
114	お話し中調べ	×	184	発信者番号通知拒否	○
115	電報受付	○	186	発信者番号通知	○
116	営業受付	○			

- ※1 ひかり電話（電話サービス）では、発信先（相手側）が応答しない場合、約3分後に自動的に接続が切断されます。このため、「しばらくお待ちください」や「番号を入力してください」等のガイダンスが流れるフリーダイヤル等へ接続している場合、待ち合わせや入力途中であっても、発信者から約3分後に接続が切断される場合があります。フリーダイヤル契約者がひかり電話の着信を許容しない設定の場合、ひかり電話からつながりません。
- ※2 NTTコミュニケーションズの「ナビダイヤル」のみ接続可能です。通話料金については、NTTコミュニケーションズの定める通話料が適用されます。
- ※3 別途、NTT西日本が指定する災害時義援金募集番組に限りです。
- ※4 国際フリーダイヤル（010-800始まり）、船舶電話へは接続できません。（ただし、相手先端末が衛星電話インマルサット-B、インマルサット-M、インマルサットミニM/フリート、イリジウム、スラヤの場合接続可能）
- ※5 発信先（相手側）のPHS 端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。
- ※6 「DIAL（ダイヤル）104」サービス（番号案内した電話番号にそのまま接続するサービス）は、ひかり電話からの発信では利用できません。ただし、番号案内先がひかり電話の場合は、「DIAL（ダイヤル）104」サービスより着信は可能です。

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

## 内線通話

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線IP端末、LANポートに接続されたIP端末など呼び出して、通話することができます。

- ①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。  
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ➡3-21 ページ、IP 端末 ➡3-24 ページ）
- ③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

## 内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線IP端末、LANポートに接続されたIP端末などに取りつぎます。

- ①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
- ②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。  
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ➡3-21 ページ、IP 端末 ➡3-24 ページ）
- ③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
- ④ハンドセットを置いて転送を実行します。

## お知らせ

- 同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか1通話です。
- 内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「**Ⓜ**」（シャープ）を押してください。
- 内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。
- フッキングとは  
電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。



## キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

- 1 お話中に「ププッ…」という割込音が聞こえる
- 2 相手の方に伝え、フッキングする  
最初に話していた方との通話は保留されます。
- 3 あとからかけてきた方とお話する  
最初に話していた方には保留音が流れます。
- 4 最初に話していた方とお話するには、もう一度フッキングする

### ■キャッチホンサービスおよび通話中の着信について

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホン動作をします。(注1)	呼び出し音が聞こえます。
複数チャンネルのご契約がある場合	1チャンネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定(※1)してください。(注2)	呼び出し音が聞こえます。(注3)
キャッチホン、複数チャンネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。(注4)	お話し中音が聞こえます。(注4)

(※1) 割込音通知は、パソコンまたは電話機から設定できます。

(パソコンから設定 ●3-22 ページ、電話機から設定 ●3-29 ページ)

(注1) キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定に関わらずキャッチホンの「ププッ…」という割込音が聞こえます。

(注2) 1チャンネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

(注3) 1チャンネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機で着信しないとき、お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。

(注4) 内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「ププッ…」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

**お知らせ**

- キャッチホンと複数チャネルを同時にご契約することはできません。
- キャッチホンをご利用いただくにはキャッチホンのご契約が必要です。
- キャッチホンや複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したまま通話終了後に、ハンドセットを置くと、保留していた通話は切断されます。
- フッキングとは  
電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。
- ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信側にはお話し中音が聞こえます。
- 複数チャネルで割込音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込音通知は動作しません。  
別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。



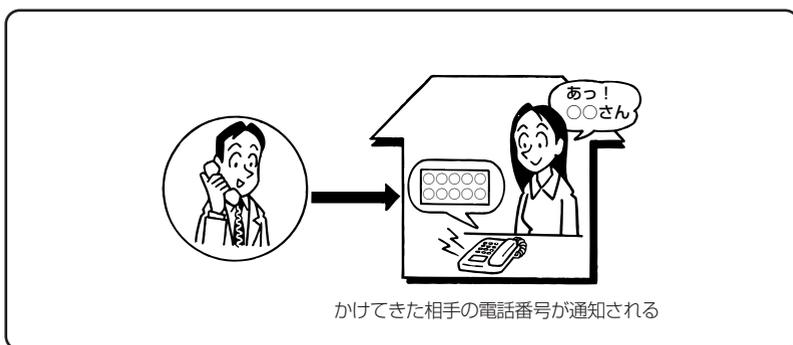
フックスイッチ

## ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。

ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。



### ●必要な設定

- ①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。  
(パソコンから設定 ◀3-22 ページ、電話機から設定 ▶3-29 ページ)  
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
- ②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
- ③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。



### お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、**ID**マーク、**cid**マーク、**ND**マークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- 電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

## 発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

● ひかり電話で契約時の内容

ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただけます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号 (通常の操作)	184+ 相手先電話番号	186+ 相手先電話番号
通常通知 (通話ごと非通知)	○	×	○
通常非通知 (回線ごと非通知)	×	×	○

○：通知する    ×：通知しない

● 指定着信機能を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

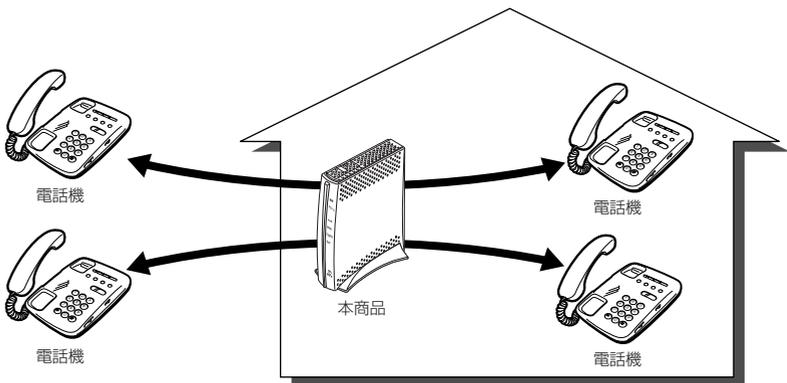
## 複数チャネルを利用する

1 台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。

ご使用になるには事前に複数チャネルのご契約が必要となります。

※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

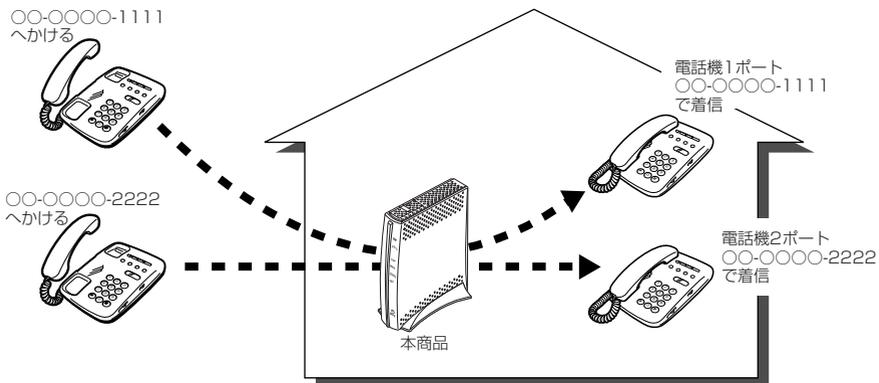
「■キャッチホンサービスおよび通話中の着信について」(●3-6 ページ) をご覧ください。



## 追加番号を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。

ご使用になるには事前に追加番号のご契約が必要となります。



## 3-3 ひかり電話のいろいろな使いかた

### 内線番号設定

使用する内線番号を「1～9」、「10～99」の1～2桁で設定できます。  
内線番号の初期値は、次の通り設定されています。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

#### ●設定方法

- ① [Web 設定] ページ ([http://ntt.setup/] もしくは本商品のIP アドレス [http://192.168.1.1/] (工場出荷時)) を開き、メニューの [電話設定] — [内線設定] を選択する
  - ② 編集する内線番号の行末の [編集] をクリックする
  - ③ [内線設定] 画面で設定する  
(アナログ端末 ●3-21 ページ、IP 端末 ●3-24 ページ)
- 設定は電話機からも行えます。(●3-30 ページ)



#### お知らせ

- 本商品に接続可能な端末は最大7台までですので、同時に使用できる内線番号は最大7つまでです。

### ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

#### ●確認方法

- ① [Web 設定] ページ ([http://ntt.setup/] もしくは本商品のIP アドレス [http://192.168.1.1/] (工場出荷時)) を開き、メニューの [電話設定] — [内線設定] を選択する
- ② 編集する内線番号の行末の [編集] をクリックする
- ③ [内線設定] 画面の [電話番号設定] で確認する  
(アナログ端末 ●3-22 ページ、IP 端末 ●3-25 ページ)

## キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に、着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

あとからかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。ご使用になるには事前下記のご契約と設定が必要になります。

	必要な契約	必要な設定
ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・キャッチホン	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する (パソコンから設定 ●3-22 ページ、電話機から設定 ●3-29、3-30 ページ)
ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・複数チャネル	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する (パソコンから設定 ●3-22 ページ、電話機から設定 ●3-29、3-30 ページ) ・割込音通知を「使用する」に設定する (パソコンから設定 ●3-22 ページ、電話機から設定 ●3-29 ページ)
ナンバー・ディスプレイとキャッチホン、割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・複数チャネル ・キャッチホン	

※ナンバー・ディスプレイの初期値は「使用する」に設定されています。割込音通知、キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。

### お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、 マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。  
ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

## 割込音通知

複数チャネルでのお話し中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。

### ●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは本商品の IP アドレス「<http://192.168.1.1/>」（工場出荷時）を開き、メニューの【電話設定】－【内線設定】を選択する
  - ② 編集する内線番号の行末の【編集】をクリックする
  - ③【内線設定】画面の【ひかり電話設定】－【割込音通知】で設定する  
(アナログ端末 ●3-22 ページ)
- 設定は電話機からも行えます。(●3-29 ページ)

### お知らせ

- アナログ端末のみで利用できる機能です。

## 個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

### ●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは本商品の IP アドレス「<http://192.168.1.1/>」（工場出荷時）を開き、メニューの【電話設定】－【内線設定】を選択する
- ② 編集する内線番号の行末の【編集】をクリックする
- ③【内線設定】画面の【電話番号設定】－【着信番号】で設定する  
(アナログ端末 ●3-23 ページ、IP 端末 ●3-25 ページ)

## 一斉着信

1つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

### ●設定方法

- ① 「Web 設定」 ページ (「http://ntt.setup/」 もしくは本商品の IP アドレス 「http://192.168.1.1/」 (工場出荷時) を開き、メニューの [電話設定] - [内線設定] を選択する
- ② 編集する内線番号の行末の [編集] をクリックする
- ③ [内線設定] 画面の [電話番号設定] - [着信番号] で着信する電話番号にチェックする (アナログ端末 ●3-23 ページ、IP 端末 ●3-25 ページ)
- ④ 着信させたいすべての内線番号について手順②、③を繰り返して同様に設定する  
設定は電話機からも行えます。(●3-29 ページ)

## 着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

### ●設定方法

- ① 「Web 設定」 ページ (「http://ntt.setup/」 もしくは本商品の IP アドレス 「http://192.168.1.1/」 (工場出荷時) を開き、メニューの [電話設定] - [内線設定] を選択する
- ② 編集する内線番号の行末の [編集] をクリックする
- ③ [内線設定] 画面の [電話番号設定] - [着信音選択] で着信音を選択する (アナログ端末 ●3-23 ページ)

設定は電話機からも行えます。(●3-30 ページ)



### お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

## モデムダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

### ●設定方法

- ① 「Web 設定」 ページ (「http://ntt.setup/」 もしくは本商品の IP アドレス 「http://192.168.1.1/」 (工場出荷時) を開き、メニューの [電話設定] - [内線設定] を選択する
- ② 編集する内線番号の行末の [編集] をクリックする
- ③ [内線設定] 画面の [ひかり電話設定] - [モデムダイヤルイン] で設定する (アナログ端末 ●3-22 ページ)

設定は電話機からも行えます。(●3-29 ページ)



### お知らせ

- モデムダイヤルイン対応の電話機などがが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書などをご参照ください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

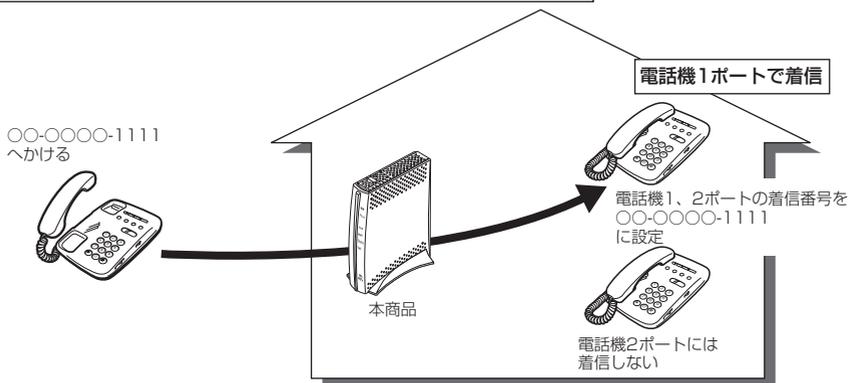
## 優先着信ポート

本商品の2つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。

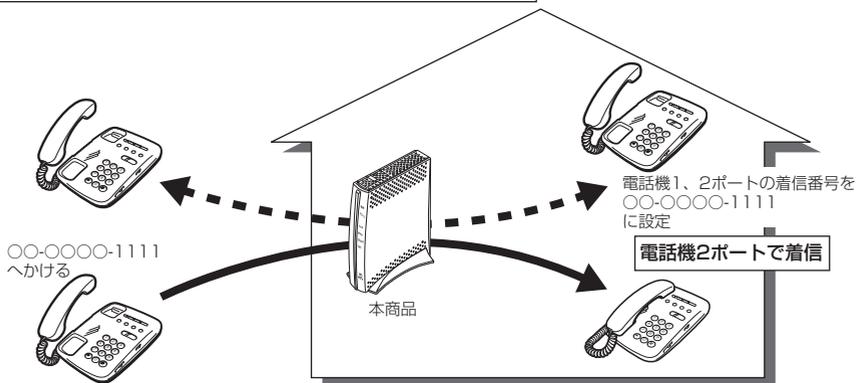
優先着信ポートをご利用になる場合、IP 端末はご利用になれません。

### 【電話機1ポートを優先着信ポートに設定した場合】

電話機1が通話（オフフック、電話機からの設定を含む）していない場合



電話機1が通話中（オフフック、電話機からの設定を含む）の場合



※複数チャネルをご利用の場合、電話機1ポートが通話中にかかってきた電話は、電話機2ポートにのみ着信します。

※キャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機1ポートが通話中であっても電話機2ポートには着信しません。通話中の電話機1ポートにキャッチホンの「ブツッ・・・」という割込音が聞こえます。

**●設定方法**

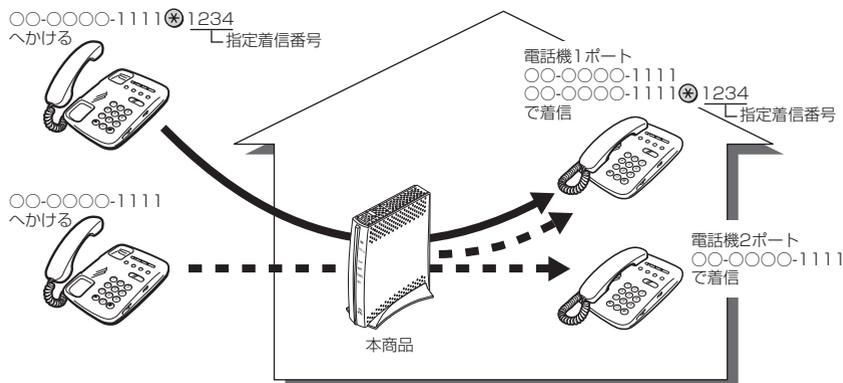
- ① [Web 設定] ページ ([http://ntt.setup/] もしくは本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/]  
(工場出荷時)) を開き、メニューの [電話設定] - [ひかり電話共通設定] を選択する
  - ② [優先着信ポート] で優先する電話機ポートを選択する (●3-19 ページ)
- 設定は電話機からも行えます。(●3-29 ページ)

**お知らせ**

- 優先着信ポートを有効に設定した場合、電話機 1、2 ポートを無効に設定できません。電話機 1、2 ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- 電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、IP 端末はご利用になれません。IP 端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

## 指定着信機能

指定着信機能を利用すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログポートに接続された端末を呼び出すことができます。



### ●設定方法

- ① [Web 設定] ページ (<http://ntt.setup/>) もしくは本商品の IP アドレス [<http://192.168.1.1/>] (工場出荷時) を開き、メニューの [電話設定] - [内線設定] を選択する
- ② 編集する内線番号の行末の [編集] をクリックする
- ③ [内線設定] 画面の [電話番号設定] で指定着信機能を使用する電話番号の [指定着信機能] - [使用する] にチェックし、[指定着信番号] に使用する指定着信番号を入力する (☛3-23 ページ)
- ④ 指定着信番号あり/なしの両方の着信を受ける場合は、[指定なし着信] にチェックする設定は電話機からも行えます。(☛3-30 ページ)



### お知らせ

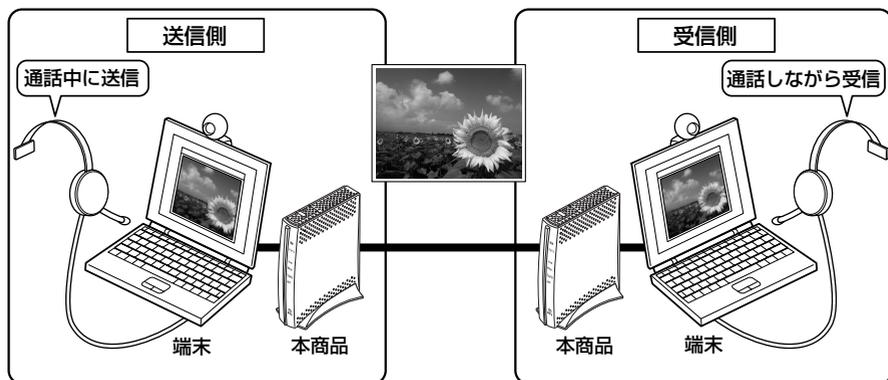
- アナログ端末のみで利用できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合には、キャッチホン (☛3-6 ページ) はご利用いただけません。
- 追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は 1 つだけです。
- 指定着信番号は 0 ~ 9 の任意の数字で、最大 19 桁となります。
- 指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者により異なります。
- ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線や NTT 西日本および NTT 東日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

## 通話中の相手先からのメディア変更機能

ひかり電話どうして、本商品に接続された端末を用いて通話している場合には、通話しながら専用の帯域を確保して、画像ファイルなどさまざまな形式のデータを送受信できるようになっています。(端末側でデータの送受信機能に対応している必要があります。)

このお客様がひかり電話どうして通話中に、各種データ送受信を開始する処理のことを、「メディア変更」と呼びます。

本機能では、通話相手からメディア変更の要求を受けたときにそれを許容するか・許容しないかを設定することができます。また、メディア変更を許容しないに設定した場合でも、あらかじめ登録した電話番号は、メディア変更を許容するように設定できます。



### ●設定方法

- ①「Web 設定」ページ (「<http://nnt.setup/>」もしくは本商品のIPアドレス「<http://192.168.1.1/>」(工場出荷時))を開き、メニューの「電話設定」-「ひかり電話共通設定」を選択する
- ②「メディア変更機能」のプルダウンから、下記のいずれかを選択する
  - ※ご利用の環境によっては「通話中の相手先からのメディア変更設定」は表示されない場合があります。
  - ・常に許容する：自分が発信者／着信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます
  - ・発信時のみ許容しない：自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します
  - ・常に許容しない：自分が発信者／受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します
- ③「設定」をクリックする
- ④「メディア変更を許容する電話番号」の「編集」をクリックする
  - ※手順②で「常に許容する」を選択している場合は、「編集」は使用できません。
- ⑤データの受信を許容する電話番号を設定する



### お知らせ

- あらかじめ登録した電話番号に対するメディア変更を許容するためには、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。(●3-8ページ)
- 「メディア変更を許容する電話番号」に登録した電話番号からメディア変更機能をご利用になる場合は、発信者側の発信者番号を「通知する」に設定してください。設定方法は、ご利用になる機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。
- 設定方法詳細については、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

## 3-4 パソコンからひかり電話の設定をする

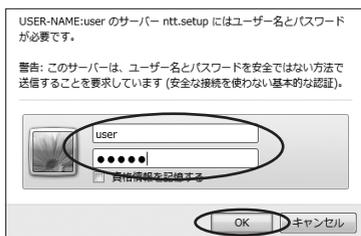
ひかり電話の設定は、パソコンまたは電話機で行います。パソコンで設定する場合は、本商品に接続されたパソコンの Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの「電話設定」－「ひかり電話共通設定」または、「内線設定」から行います。

ひかり電話の設定を変更しない場合は、設定の必要はありません。

※初めて本商品の「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開いた場合は本商品の初期設定を行ってください。（☛4-6 ページ）

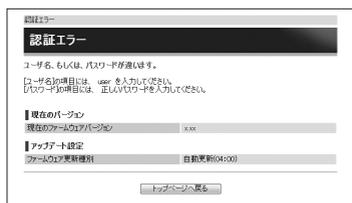
### ■ 「ひかり電話共通設定」画面で設定する

- 1 Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）と入力し、「Web 設定」ページを開く
- 2 ユーザー名に「user」を、パスワードに「4-4 本商品へ無線 LAN の設定をする」（☛4-6 ページ）手順 2 で入力した管理者パスワードを入力し [OK] をクリックする



認証に失敗すると、下記の画面が表示されます。[トップページへ戻る] をクリックし、再度ユーザー名、パスワードを入力してください。

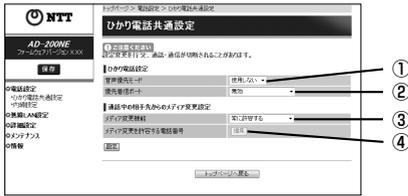
※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。



- 3 メニューの「電話設定」－「ひかり電話共通設定」を選択する



## 「ひかり電話共通設定」画面で設定する



## 【ひかり電話設定】

## ①音声優先モード

ひかり電話をご使用になっている場合に、音声品質を改善するため音声パケットを優先的に送出する設定をします。

※音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。

- ・「使用しない」 音声優先制御を行いません。
- ・「優先」 音声パケットを優先処理します。
- ・「最優先」 音声パケットを最優先で処理します。

(初期値：使用しない)

## ②優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。

- ・「アナログ端末（電話機 1）」 電話機 1 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・「アナログ端末（電話機 2）」 電話機 2 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・「無効」 優先着信を行いません。

(初期値：無効)

※優先着信ポートを設定する場合は「内線設定」画面で次の設定が必要です。

- ・【電話設定】－【内線設定】の【内線番号エン트리】で「アナログ端末（電話機 1）」と「アナログ端末（電話機 2）」の【内線番号】にチェックしてください。(☛3-20 ページ)
- ・【電話設定】－【内線設定】の【内線番号エン트리】で「IP 端末 1」～「IP 端末 5」で【内線番号】のチェックをすべて外してください。(☛3-20 ページ)
- ・【電話設定】－【内線設定（アナログ端末）】の【アナログ端末（電話機 1）」と「アナログ端末（電話機 2）」で同一の着信番号を 1 つ以上選択し、「割込音通知」を「使用しない」に設定してください。(☛3-22 ページ)

## 【通話中の相手先からのメディア変更設定】

※ご利用の環境によっては、「通話中の相手先からのメディア変更設定」は表示されない場合があります。

## ③メディア変更機能

通話中の相手からのデータ受信の可否を選択します。

- ・常に許容する：  
自分が発信者／着信者いすれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます

- ・発信時のみ許可しない：  
自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します
  - ・常に許可しない：  
自分が発信者／受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します
- ※選択後、「設定」をクリックしてください。  
(初期値：常に許可する)
- データの受信を許可する電話番号を設定します。  
※[メディア変更機能]を[常に許可する]に設定している場合は設定ができません。

④メディア変更を許可する  
電話番号

## 5 「設定」をクリックする

### ■ 「内線設定」画面で設定する

1 「Web 設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの「電話設定」－「内線設定」を選択する

2 「内線番号エントリ」の中から編集する内線番号の行末の【編集】をクリックする



内線番号を有効にするには、「内線番号エントリ」で使用する内線番号の「利用有無」にチェックして、「設定」をクリックします。同時に使用できる内線番号は最大7つまでです。

※初期値は下記の内線番号でアナログ端末／IP 端末の内線設定画面が割り当てられています。内線番号は、内線設定画面で設定した番号に変わります。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

< 「アナログ端末」の内線番号を選択した場合 >

[内線設定 (アナログ端末)] の編集画面で、編集・設定します。(●3-21 ページ)

< 「IP 端末」の内線番号を選択した場合 >

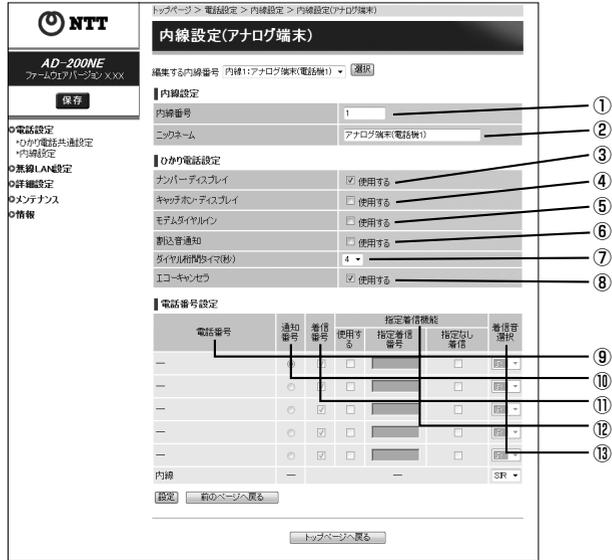
[内線設定 (IP 端末)] の編集画面で、編集・設定します。(●3-24 ページ)

3

【内線設定】画面で設定する

【内線設定（アナログ端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、画面左上の「編集する内線番号」で内線番号を選択すると、画面表示が切り替わり、続けて設定できます。



【内線設定】

①内線番号

内線番号を入力します。

「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。

※重複した内線番号は設定できません。

(初期値：下記の表を参照)

②ニックネーム

ニックネームを入力します。

キーボードから入力可能な文字で、全角32文字または半角64文字まで入力できます。

(初期値：下記の表を参照)

<初期値>

内線番号	ニックネーム
1	アナログ端末（電話機 1）
2	アナログ端末（電話機 2）

3

ひかり電話の使いかた

(次ページに続く)

## 【ひかり電話設定】

- ③ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。(ナンバー・ディスプレイについては ●3-8 ページ)  
(初期値：使用する)  
※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用する」のチェックを外してください。
- ④キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイを使用する場合にチェックします。  
ナンバー・ディスプレイを【使用する】に設定している場合のみ設定できます。  
(キャッチホン・ディスプレイについては ●3-12 ページ)  
(初期値：使用しない)
- ⑤モデムダイヤルライン モデムダイヤルラインを使用する場合にチェックします。  
(初期値：使用しない)
- ⑥割込音通知 複数チャンネルでのお話し中の電話機や、内線通話中の電話機に、電話がかかってきたことを通知する割込音を使用する場合にチェックします。(複数チャンネルについては ●3-9 ページ) (初期値：使用しない)
- ⑦ダイヤル桁間タイマ (秒) 電話機からのダイヤルを受付する間隔を設定します。設定できる値は「4～8」(秒)です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に発信するまでの時間が長くなります。  
(初期値：4 秒)
- ⑧エコーキャンセラ エコーやハウリングを防止する機能を使用する場合にチェックします。  
(初期値：使用する)

## 【電話番号設定】

- ⑨電話番号 ご契約された電話番号 (外線) が表示されます。
- ⑩通知番号 発信時、電話をかけた相手先に通知する発信者番号にチェックします。  
※「通知番号」に設定した電話番号は「着信番号」に設定されます。  
※「通知番号」に設定した電話番号に「指定着信機能」を設定しても相手先に「指定着信番号」は通知されません。  
(初期値：契約者外線番号)

- ⑪着信番号 各電話番号あてにかかってきた電話を着信させる場合にチェックします。着信番号は複数選択できます。(初期値：すべての電話番号)
- ⑫指定着信機能 指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に使用する指定着信番号を入力します。(1～19桁の数字を入力してください。) 指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は「指定なし着信」にチェックします。  
※指定着信機能は電話機1、2ポートで1つの番号でのみ使用できます。他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、いったん「使用する」のチェックを外してください。(初期値：使用しない)
- ⑬着信音選択 電話番号ごとに着信音を設定できます。「IR」「SIR」から選択します。  
・「IR」  
着信音が「1秒あり+2秒なし」を繰り返します(「プルルルー、プルルルー・・・」と鳴動します)。  
・「SIR」  
着信音が「0.3秒あり+0.3秒なし+0.3秒あり+2.1秒なし」を繰り返します(「プルルッ、プルルッ・・・」と鳴動します)。(初期値：外線用「IR」、内線用「SIR」)



#### お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- 着信音「IR」「SIR」で実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。

## 【内線設定 (IP 端末)】

※複数の内線番号を編集する場合は、画面左上の「編集する内線番号」で内線番号を選択すると、画面表示が切り替わり、続けて設定できます。

電話番号設定		
電話番号	通知番号	着信番号
—	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
—	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
—	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
—	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
—	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

### ①内線番号

内線番号を入力します。  
「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。  
※重複した内線番号は設定できません。  
(初期値：3-25 ページの表を参照)

### ②ニックネーム

ニックネームを入力します。  
キーボードから入力可能な文字で、全角32文字または半角64文字まで入力できます。  
(初期値：3-25 ページの表を参照)

### ③端末属性

端末属性を「音声端末」、「通常端末」から選択します。  
※接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。接続した端末の機能に合わせて設定してください。  
(初期値：「通常端末」)

### ④MACアドレス

IP 端末のMAC アドレスを入力します。  
(初期値：空欄)

### ⑤ダイジェスト認証

IP 端末とのダイジェスト認証を行うかどうかを選択します。  
(初期値：行う)

## ⑥ ユーザID

任意のユーザIDを入力します。  
使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大32文字です。

※ここで設定したユーザIDと同じユーザIDを、接続するIP端末にも設定します。IP端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。IP端末によっては、空欄に設定する場合もあります。

(初期値：下記の表を参照)

## ⑦ パスワード

任意のパスワードを入力します。  
使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大32文字です。

※ここで設定したパスワードと同じパスワードを、接続するIP端末にも設定します。IP端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。ユーザIDが空欄の場合は、パスワードは不要です。

(初期値：自動生成（半角8桁）)

## &lt;初期値&gt;

内線番号	ニックネーム	ユーザID
3	IP 端末 1	0003
4	IP 端末 2	0004
5	IP 端末 3	0005
6	IP 端末 4	0006
7	IP 端末 5	0007

## 【電話番号設定】

## ⑧ 電話番号

ご契約された電話番号（外線）が表示されます。

## ⑨ 通知番号

発信時、電話をかけた相手先に通知する発信者番号にチェックします。

※「通知番号」に設定した電話番号は「着信番号」に設定されます。

(初期値：契約者回線番号)

## ⑩ 着信番号

各電話番号あてにかかってきた電話を着信させる場合にチェックします。着信番号は複数選択できます。

(初期値：すべての電話番号)

- 
- 4 「設定」をクリックする
  - 5 「前のページへ戻る」をクリックする
  - 6 「内線番号エントリ」で「最新状態に更新」をクリックする
  - 7 設定した内線番号にチェックして「設定」をクリックする  
※最大7つの番号までチェックできます。
  - 8 「保存」をクリックする



#### お知らせ

- 本商品に接続するIP端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。

ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。  
※無効に設定されている電話機ポートに接続した電話機からは設定できません。

## ■設定手順

設定手順は次のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。

それぞれの機能を設定する際には「■設定一覧」(☛3-29ページ)を参照してください。

- 1 ハンドセットを取りあげる  
「ツーン」という音を確認します。



- 2 電話機のダイヤルボタンで設定項目の番号を押す

設定項目	
☓ ☓ ☓ ⑨ ①	ひかり電話共通設定
☓ ☓ ☓ ⑨ ⑨	内線設定 (アナログ端末)

➡ 手順4に進む

➡ 手順3に進む

- 3 設定項目が「内線設定 (アナログ端末)」の場合は、「ポート番号」を押す  
設定項目が「ひかり電話共通設定」の場合は、手順4に進みます。

ポート番号	
①	電話機 1
②	電話機 2

- 4 「☓ 機能番号 ☓ 設定値 ☓」と押す

〈ひかり電話共通設定の場合〉

機能番号 (例)	設定値 (例)
① ①	音声優先モード
①	① 使用しない
	② 優先
	③ 最優先

〈内線設定 (アナログ端末) の場合〉

機能番号 (例)	設定値 (例)
⑨ ①	ナンバー・ディスプレイ設定
①	① 使用する
	② 使用しない

※〈内線設定 (アナログ端末) の場合〉で複数の設定を行う場合は、手順3に戻って設定します。

※機能番号と設定値については、「■設定一覧」(☛3-29ページ)を参照してください。

- 5 すべての設定が終わったら、「☓」と押す  
「プブ、プブ」と聞こえ、すべての設定値が反映されます。

- 6 ハンドセットを置く



## 〈設定例：電話機 1 ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

- 1 電話機のハンドセットを取りあげる  
「ツー」という音を確認します。



- 2 電話機のダイヤルボタンを  
「\* \* \* 9 9 1 \* 9 1 \* 2 # #」と押す



設定が終了すると、「プブ、プブ」と聞こえます。

- 3 ハンドセットを置く



### お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ・・・」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や、中止した場合は、設定が無効になります。初めから設定をやり直してください。
- 設定する電話機ポートが使用中の場合は、使用終了後に、次の発着信から設定が有効になります。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。

## ■設定一覧

電話機から設定できるひかり電話の設定は次の通りです。

「■設定手順」(☛3-27 ページ)を参考に、左から順に操作します。

※ダイヤルボタンを押す間隔が30秒以上あくと、設定が中止されます。

【ひかり電話共通設定】(☛☛☛☛☛☛)

※下線 \_\_\_\_\_ は、初期値です。

機能番号	開始操作	機能番号	設定値・設定内容	終了操作
00	音声優先モード (☛3-19 ページ)			
	 * * * 9 0 * 0 0 *	①: 使用しない ②: 優先 ③: 最優先	# # 	
01	優先着信ポート (☛3-14 ページ) ※ 1			
	 * * * 9 0 * 0 1 *	①: 電話機 1 ポート ②: 電話機 2 ポート ③: 無効	# # 	

※ 1 設定する場合は、3-31 ページの「お知らせ」を参照してください。

【内線設定 (アナログ端末)】(☛☛☛☛☛☛)

● 「内線設定 (アナログ端末)」では、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートごとに設定が必要です。

電話機 1 ポートの設定→ポート番号 ① を押す

電話機 2 ポートの設定→ポート番号 ② を押す

機能番号	開始操作	ポート番号	機能番号	設定値・設定内容	終了操作
91	ナンバー・ディスプレイ (☛3-8 ページ)				
	 * * * 9 9 または ① * 9 ① * ②	①: 使用する ②: 使用しない	# # 		
92	モデムダイヤルイン (☛3-13 ページ)				
	 * * * 9 9 または ① * 9 ② * ②	①: 使用する ②: 使用しない	# # 		
93	割込音通知 (☛3-12 ページ) ※ 1				
	 * * * 9 9 または ① * 9 ③ * ②	①: 使用する ②: 使用しない	# # 		
94	着信番号 (☛3-23 ページ) ※ 1				
	 * * * 9 9 または ① * 9 ④ * ② (着信番号)	※複数の電話番号のうち、着信番号を1つの電話番号(通知番号)に設定する場合は、通知番号の設定を先に行ってください。 ※複数の番号を設定する場合は、「☛(着信番号)」を繰り返して設定します。3-31 ページの「お知らせ」を参照してください。	# # 		

(次ページに続く)

機能番号	開始操作	ポート番号 *	機能番号 *	設定値・設定内容	終了操作
95	指定着信機能 (☛3-16 ページ) ※ 1  * * * 9 9 または * 9 5 * (着信番号) * (指定着信番号) # # 	①			
96	キャッチホン・ディスプレイ (☛3-12 ページ) ※ 2  * * * 9 9 または * 9 6 * ① : 使用する ② : 使用しない # # 	①			
97	ダイヤル桁間タイマ (☛3-22 ページ)  * * * 9 9 または * 9 7 * ④ : 4 秒 ⑤ : 5 秒 ⑥ : 6 秒 ⑦ : 7 秒 ⑧ : 8 秒 # # 	①			
98	エコーキャンセラ (☛3-22 ページ)  * * * 9 9 または * 9 8 * ① : 使用する ② : 使用しない # # 	①			
00	通知番号 (☛3-22 ページ) ※ 3  * * * 9 9 または * 0 0 * (通知番号) # # 	①			
01	内線番号 (☛3-11 ページ) ※ 4  * * * 9 9 または * 0 1 * (内線番号) # #  ※初期値は、電話機 1 ポート : 1、電話機 2 ポート : 2 です。	①			
02	着信音選択 (☛3-23 ページ)  * * * 9 9 または * 0 2 * (着信番号) * ① : IR ② : SIR # #  ※初期値は、外線用 : IR、内線用 : SIR です。 内線用の着信音は電話機から設定できません。 パソコンから設定してください。(☛3-23 ページ)	①			

- ※ 1 設定する場合は、3-31 ページの「お知らせ」を参照してください。
- ※ 2 ナンバー・ディスプレイが「使用する」に設定されている場合に設定できます。
- ※ 3 通知番号に設定した電話番号は、着信番号に設定されます。
- ※ 4 内線番号の設定は既存の内線番号には設定できません。(初期値 : 1 ~ 7)



## お知らせ

※設定中に「ピピ、ピピ…」というエラー音が聞こえた場合は、設定に失敗しています。設定内容を確認して、初めから設定をやり直してください。

## ●優先着信ポート

・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。

電話機 1、2 ポート：「有効」に設定されます。

「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。

すべての IP 端末：「無効」に設定されます。

・次の場合は「ピピ、ピピ…」というエラー音が聞こえ、優先着信ポートの設定ができません。

①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が設定されていない場合

②電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

## ●割込音通知

優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「ピピ、ピピ…」というエラー音が聞こえます。

割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

## ●着信番号

・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号が着信する設定になります。それ以外の電話番号は、着信しない設定になります。

＜複数の電話番号を着信番号として設定するには＞

複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「\*」（着信番号）を繰り返して設定してください。

(例) 電話機 1 ポートに着信番号「06 00001111」「06 00002222」を設定する場合



\* \* \* 9 9 1 \* 9 4 \* 06 00001111

\* 06 00002222 # #



・通知番号に設定されていない着信番号に指定着信番号が設定されている場合、着信番号を設定すると、「ピピ、ピピ…」というエラー音が聞こえ、着信番号の設定ができません。

・着信番号の設定で着信番号を設定しなかった場合は、通知番号に指定された電話番号以外に着信しない設定になります。

(例) ダイヤルボタンを「\* \* \* 9 9 1 \* 9 4 \* # #」と押した場合

## ●指定着信

・指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」（指定着信番号なしの着信は着信しない）に設定されます。

・指定着信番号は、電話機 1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。

・指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。

・次の場合は「ピピ、ピピ…」というエラー音が聞こえ、指定着信番号の設定ができません。

①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、優先着信ポートが設定されている場合

②着信番号に設定していない電話番号に指定着信番号を設定した場合

・指定着信の設定で指定着信番号を設定しなかった場合は、指定着信機能は「使用しない」に設定されます。

(例) ダイヤルボタンを「\* \* \* 9 9 1 \* 9 5 \* (着信番号) \* # #」

と押した場合

## 複数の電話機での同時着信や 使い分けを設定する

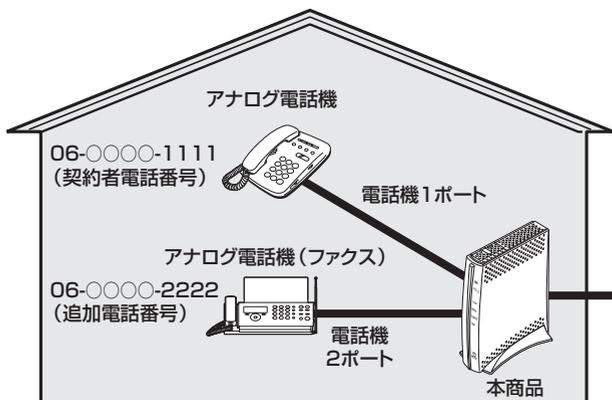
ひかり電話の着信は、ご利用の環境に合わせて同時着信や鳴り分けを設定することができます。

ここでは、ひかり電話の付加サービスを利用する場合と、指定着信機能を利用して特定のアナログ端末に着信する設定方法について記載します。

通知番号、着信番号、着信音、指定着信機能の設定は、「Web 設定」の[電話設定]で行います。「3-4 パソコンからひかり電話の設定をする」(☛3-18ページ)を参照してください。

### ファクスと電話で使い分けたいときには

#### 【利用例】



#### 【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号 (2 番号)
- 複数チャンネル
  - ※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

#### 【設定例】

##### アナログ端末 (電話機 1)

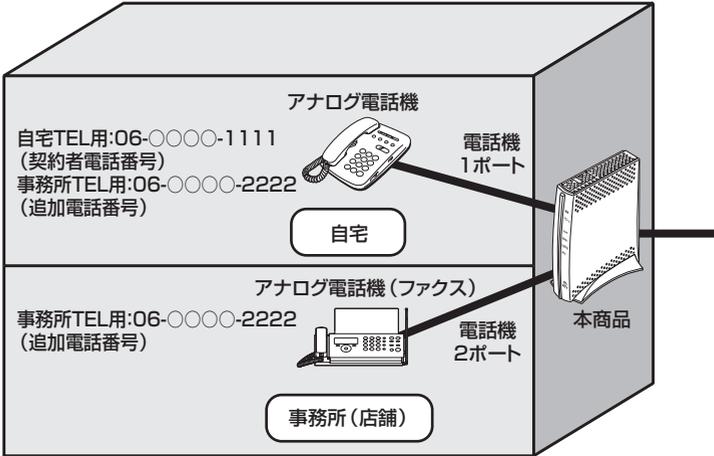
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
06-0000-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—

##### アナログ端末 (電話機 2)

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
06-0000-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには

【利用例】



3

ひかり電話の使いかた

【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号（2 番号）
  - 複数チャンネル
- ※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
06-0000-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	SIR

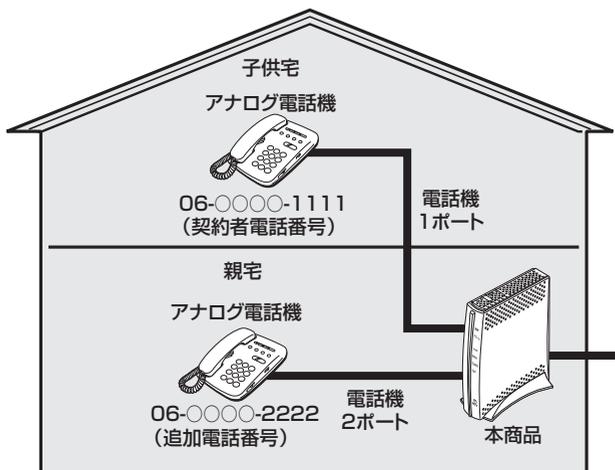
アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
06-0000-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

## 2世帯で電話を鳴り分けて使うには

### 【利用例】



### 【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号（2 番号）
- 複数チャンネル

※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

### 【設定例】

#### アナログ端末（電話機1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
06-0000-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	SIR

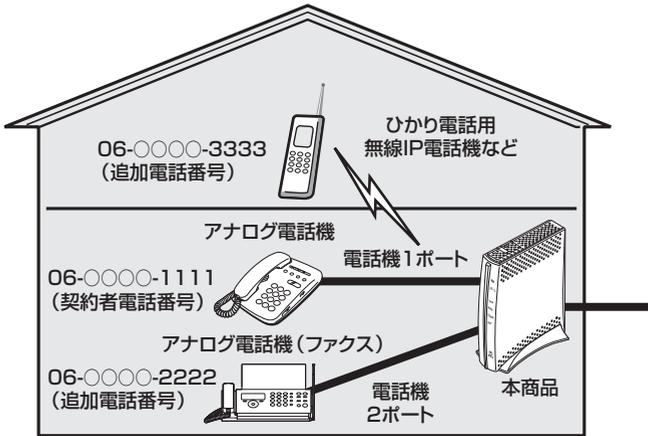
#### アナログ端末（電話機2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	SIR
06-0000-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

ひかり電話用無線 IP 電話機などを利用したいときには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号（3 番号）
  - 複数チャンネル
- ※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
06-0000-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
06-0000-3333	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—

アナログ端末（電話機2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
06-0000-2222	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR
06-0000-3333	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—

IP 端末 1

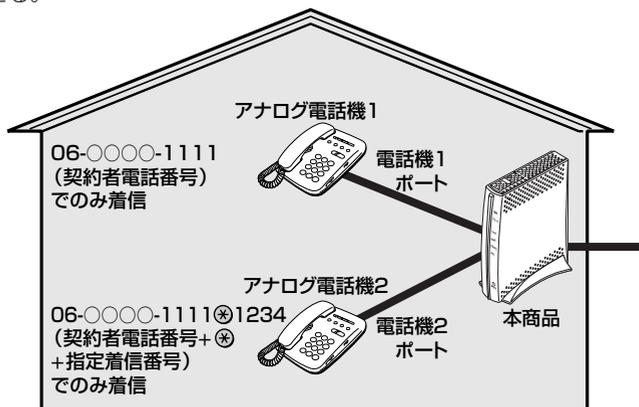
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
06-0000-2222	<input type="radio"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> 着信しない	—
06-0000-3333	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	—

※ IP 端末の詳細な設定については、別途ご利用の IP 端末の取扱説明書などをご参照ください。  
 ※ IP 端末の設定は電話機からは行えません、パソコンから設定してください。

## 指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに着信させたいときには

### 【利用例】

「06-0000-1111」でかかってきた場合は、アナログ電話機 1 のみ着信させる。  
 「06-0000-1111 ☉ 1234」でかかってきた場合は、アナログ電話機 2 のみ着信させる。



### 【設定例】

#### アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
06-0000-1111	☉ 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	<input type="checkbox"/> 使用しない	—	—	IR

#### アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
06-0000-1111	☉ 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	1234	<input type="checkbox"/> 着信しない	IR

※「Web 設定」の「電話設定」－「内線設定（アナログ端末）」画面の「電話番号設定」で「指定着信機能」－「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に「1234」（指定着信番号）を入力します。

指定着信番号あり/なしの両方の着信を受ける場合は、「指定なし着信」にチェックします。（電話機からは設定できません。パソコンから設定を行ってください。）



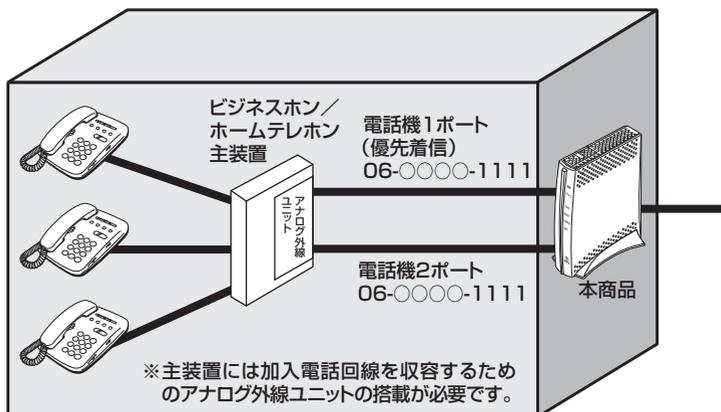
### お知らせ

- アナログ端末のみで利用できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンのご利用いただけません。
- ガスの遠隔検針などでご利用いただけます。

## 本商品にビジネスホンシステム／ホームテレホンシステムを接続して使用するには

### 【利用例】

本商品の電話機 1、2 ポートとビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置を接続し、「06-0000-1111」にかかってきた場合は、優先的に電話機 1 ポートに着信させる。



### 【ひかり電話の付加サービスの利用】

#### ●複数チャンネル

### 【設定例】

#### アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

#### アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
06-0000-1111	<input checked="" type="radio"/> 通知する	<input checked="" type="checkbox"/> 着信する	IR

### 【優先着信ポートの設定】

①「Web 設定」のメニューの「電話機設定」－「ひかり電話共通設定」を選択する

②「優先着信ポート」で「電話機 1 ポート」を選択する（☛3-19 ページ）

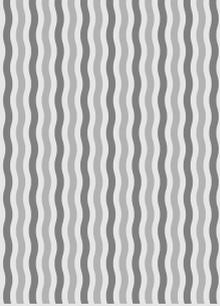
※優先着信ポートの詳細については「優先着信ポート」（☛3-14 ページ）を参照してください。



### お知らせ

- 本商品の電話機ポートにビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置を接続するには、加入電話回線を収容するためのアナログ外線ユニットが搭載されている必要があります。
- 本商品の電話機ポートにビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置を接続するには、工事担当者によるビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置へのシステム設定と接続工事が必要です。お使いのビジネスホンシステム／ホームテレホンシステムの工事・保守お問い合わせ先へご連絡ください。





# 4

## 無線 LAN のご利用について

無線 LAN をご利用になる場合はこちらをご覧ください。

- 4-1 設定方法を確認してください……………4-2
- 4-2 無線 LAN 設定の流れ ……………4-3
- 4-3 本商品への無線 LAN カードの取り付け ……4-4
- 4-4 本商品へ無線 LAN の設定をする ……………4-6

## 4-1 設定方法を確認してください

本商品は、「AD-200NE 専用 CD-ROM」内の「まるごと設定ツール」を使用して設定する方法と、Web ブラウザ（Internet Explorer® など）で設定する方法の2つの方法があります。本商品のご利用方法に合わせて、設定を行ってください。

「まるごと設定ツール」を使用して  
設定する場合

Web ブラウザ (Internet Explorer® など)  
で設定する場合

↓

パソコンの OS が Windows® 7、  
Windows Vista® および Windows®  
XP の場合

↓

パソコンの OS が Windows® 7、  
Windows Vista® および Windows®  
XP、Mac OS X の場合

↓

「AD-200NE 専用 CD-ROM」をパソ  
コンにセットし、「まるごと設定ツ  
ール」を起動します。  
詳しくは、付属の「最初にお読みくだ  
さい」をご覧ください。

↓

この取扱説明書を読み進んで設定を完  
了させてください。

**STOP**

お願い

- インターネットの接続や、NTT 西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、加入者網終端装置（CTU）にパソコンを接続します。
- 本商品の設定を変更するときに限り、本商品の LAN ポートにパソコンを接続してください。

## 4-2 無線 LAN 設定の流れ

本商品で無線 LAN をご利用になるには次の手順で設定を行ってください。

本商品に無線 LAN カードを取り付けます。

「4-3 本商品への無線 LAN カードの取り付け」(☛4-4 ページ)



本商品へ無線 LAN の設定を行います。

「4-4 本商品へ無線 LAN の設定をする」(☛4-6 ページ)

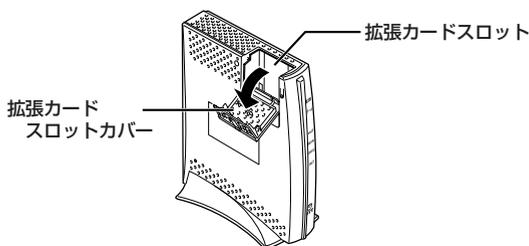
## 4-3 本商品への無線LANカードの取り付け

本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-32NE」を装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。

- 装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- 電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。
- 電源を入れたまま無線LANカードの装着や取り外しを行うと、本商品および装着した無線LANカードが故障する場合があります。
- 本商品に装着できる無線LANカードは「SC-32NE」のみです。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

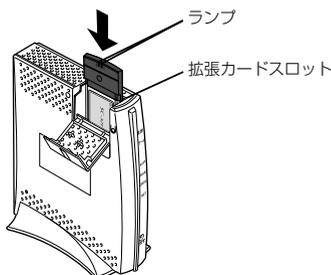
2 本商品の側面の拡張カードスロットカバーを開く



3 無線LANカード（SC-32NE）を拡張カードスロットの奥まで確実に装着する

無線LANカードは図の通り、本商品のランプ側を右にしてSC-32NEのACTランプ、PWRランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。

※装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。



4 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続する

SC-32NEのACTランプ、PWRランプが同時に緑点滅することを確認してください。



## 4-4 本商品へ無線 LAN の設定をする

### 「Web 設定」を起動する

あらかじめ本商品の LAN ポートにパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。設定画面が開けない場合には、「7-1 パソコンのネットワーク設定」(●7-2 ページ)をご覧ください。パソコンとの接続を確認してください。

1 Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時)と入力し、「Web 設定」ページを開く

2 管理者パスワードの初期設定を行う

画面にしたがって任意の文字列(半角英数字で最大 64 文字まで)を入力してください。

2 回目以降は手順 4 に進みます。

管理者パスワードの初期設定

本商品は、第三者による不正のアクセスや設定変更を防止するため、管理者パスワードを入力してはじめてアクセスできるようにしています。パスワードに設定できるのは半角英数字、ハイフン、アンダースコアのみです。本商品を設定するためのパスワードです。ブラウザから提供されるパスワードではおれません。

【管理者パスワードの初期設定】

パスワード

パスワードの確認入力

確認

管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワード

管理者パスワードは上記の表に記載しておくことをお勧めします。

忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。(●7-15 ページ)

3 【設定】をクリックする

4 ユーザー名に「user」を、パスワードに手順 2 で入力した管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

USER-NAME: user のサーバー ntt.setup にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

user

資格情報を記憶する

OK キャンセル

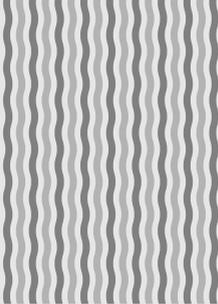
5 「Web 設定」の「トップページ」が表示されることを確認する

### お知らせ

- インターネットへの接続は、加入者網終端装置 (CTU) に接続したパソコンから行います。
- LAN ポートに空きがないときは、LAN ポートに接続している有線 IP 端末を外してパソコンを接続してください。







# 5

## 本商品のバージョンアップ

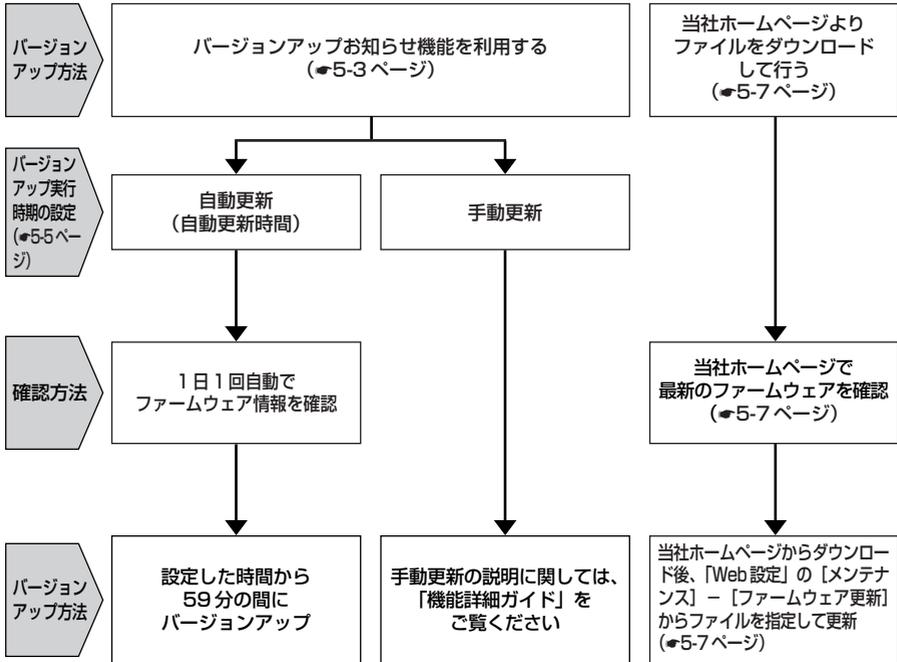
本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

- 5-1 本商品のバージョンアップの流れ ……………5-2
- 5-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする ……………5-3
- 5-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする ……………5-7
- 5-4 ファームウェア情報を確認する ……………5-8

# 5-1 本商品のバージョンアップの流れ

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。



# バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。  
本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

※指定した URL から、本商品の現在のバージョンや更新種別を確認することができます。（●5-8 ページ）

バージョンアップ方法には以下の2通りの方法があります。

- バージョンアップお知らせ機能を利用する（●下記）
  - 1.バージョンアップお知らせ機能の機能概要
  - 2.バージョンアップ実行時期を設定する
  - 3.最新のファームウェアがあるか確認し、ダウンロードする
  - 4.バージョンアップ方法
  
- 当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（●5-7 ページ）

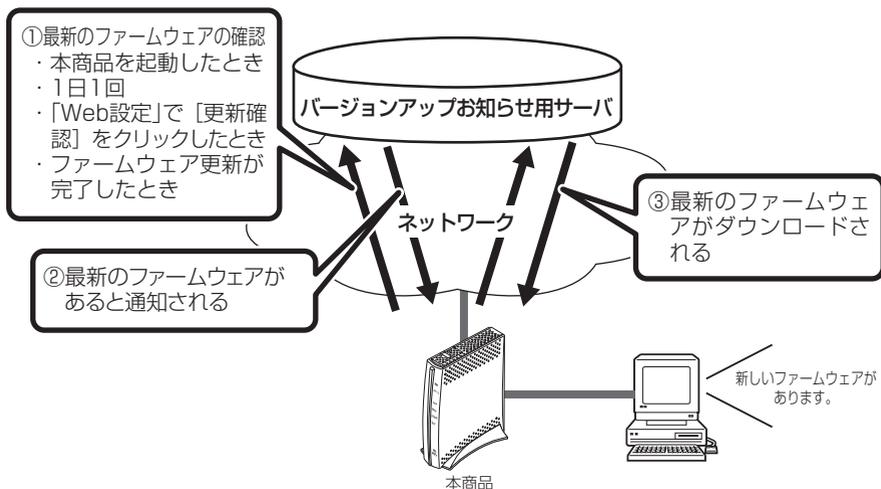
## バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新ファームウェアの有無を自動確認する機能です。最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードします。

この機能は、本商品を起動したとき、定期的に1日1回、および「Web 設定」で「更新確認」をクリックしたときに動作します。

最新のファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

- 本商品の「Web 設定」にて確認する  
（「新しいファームウェアがあります。・・・。」と表示されます。）





## ファームウェアの自動更新

ファームウェアの更新種別を「自動更新」に設定した場合、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯（初期値は午前1時～午前5時のいずれか）にあわせて自動的にファームウェアの更新を行います。

### ●「自動更新時間」を設定する

自動更新時間が『5：00』に設定されている場合は、「5：00～5：59」の間に自動的にファームウェアの更新（再起動）を行います。

※再起動中は約1分間、ひかり電話サービスがご利用いただけません。

※お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新（再起動）が行われない場合があります。

### <「Web 設定」で設定する場合>

- 1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）を開く
- 2 メニューの【メンテナンス】－【ファームウェア更新】を選択する
- 3 【自動更新時間】を設定する

4

【設定】をクリックし、【保存】をクリックする



5

本商品のバージョンアップ

## <電話機で設定する場合>

- 1 電話機のハンドセットを取りあげる  
「ツー」という音を確認します。



- 2 電話機のダイヤルボタンを  
「\* \* \* 8 8 2 設定値 # #」と押す

設定値
24時間を2桁で入力します。 (00～23の2桁) 例) 9時の場合： 0 9

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「プブ、プブ」という音が聞こえます。

- 3 ハンドセットを置く



## お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ・・・」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。
- 本商品を「手動更新」に設定している場合に、最新のファームウェアがあると、電話機のハンドセットを取りあげたときに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます。この場合も通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。「\* \* \* 1 1」をダイヤルして本商品のファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。

# 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

## 「Web 設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていただく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

当社ホームページ <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあと、更新を行います。以下の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

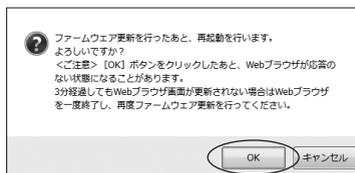
2 「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは本商品の IP アドレス「<http://192.168.1.1/>」（工場出荷時）を開く

3 メニューの「メンテナンス」－「ファームウェア更新」を選択する

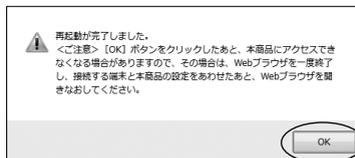
4 「ファイル指定」の「参照」をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

〔現在のバージョン〕には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5 「更新」をクリックし、「OK」をクリックする



6 「OK」をクリックする



## 5-4 ファームウェア情報を確認する

本商品に接続されたパソコンの Web ブラウザで「機器情報」ページ (<http://ntt.setup/info/>) を開くと、ユーザー名やパスワードを入力せずに、本商品の現在のファームウェアバージョンや更新種別などを確認できます。

### 本商品のファームウェアバージョンやファームウェア更新種別を確認する

Web ブラウザのアドレスに、指定した URL を入力することで、現在のファームウェアバージョン、更新種別をお知らせします。

#### 1 Web ブラウザを起動する

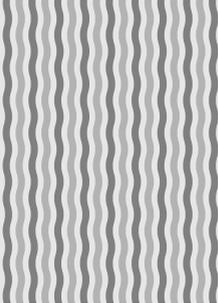
#### 2 Web ブラウザのアドレスに「<http://ntt.setup/info/>」と入力後、パソコンの [Enter] キーを押す

本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。

(工場出荷時は 192.168.1.1 です。)

例： <http://192.168.1.1/info/>





# 6

## 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

- 6-1 設置に関するトラブル……………6-2
- 6-2 ご利用開始後のトラブル……………6-6

## 6-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

### ■ ひかり電話ご利用時

本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？ →いいえ (a 参照)

↓はい

本商品前面のアラームランプは消灯していますか？ →いいえ (b 参照)

↓はい

本商品前面のWANランプは緑点灯していますか？ →いいえ (c 参照)

↓はい

本商品前面のCONFIGランプは緑点灯していますか？ →いいえ (d 参照)

↓はい

本商品前面のVoIPランプが緑点灯していますか？ →いいえ (e 参照)

↓はい

ひかり電話が使えますか？ →いいえ (f 参照)

### ■ パソコンからの設定時

本商品背面のLINKランプは緑点灯していますか？ →いいえ (g 参照)

↓はい

パソコンのIPアドレスが設定されていますか？ →いいえ (h 参照)

(IPアドレスの確認方法は、7-4、7-6、7-10ページをご覧ください)

↓はい

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？ →いいえ (i 参照)

## a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。</li> <li>●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。</li> <li>●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。）</li> <li>●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。</li> </ul>

## b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症 状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●INITランプも赤点灯している場合は、ファームウェアの更新中です。ファームウェアの更新中は本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。</li> <li>●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。</li> </ul>

## c.本商品前面のWANランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
WANランプが緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本商品と加入者網終端装置（CTU）の両方に電源が入っていることを確認してください。</li> <li>●LANケーブルが本商品のWANポートと加入者網終端装置（CTU）の両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。</li> </ul>

#### d.本商品前面の CONFIG ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
CONFIG ランプが消灯している	●ひかり電話の設定がされていません。そのまましばらくお待ちください。
CONFIG ランプが緑点滅している	●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、VoIP ランプと CONFIG ランプが緑点灯することを確認してください。
CONFIG ランプが赤点灯している	●自動設定サーバとの接続に失敗（認証エラー）しました。当社のサービス取扱所にご連絡ください。
CONFIG ランプが赤点滅している	●本商品の WAN 側を中心に接続構成を確認してください。 WAN ポートに LAN ケーブルが正しく接続されていることや、加入者網終端装置 (CTU) に電源が入っていることを確認してください。 ●自動設定サーバとの通信中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらくお待ちになったあとで、本商品の電源を入れ直し、VoIP ランプと CONFIG ランプが緑点灯してから再度実施してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

#### e.本商品前面の VoIP ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
VoIP ランプが消灯している	●CONFIG ランプが緑点灯していることを確認してください。消灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

#### f.ひかり電話が使えない

症状	原因と対策
ひかり電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●ひかり電話でかけられない番号があります。「接続可否番号一覧」（●3-4 ページ）をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページでご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などである場合、または電話機の ACR 機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。 ●電源を切つてすぐに電源を入れた場合、6分～10分程度ご利用できない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。

#### g.本商品背面の LINK ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
LINK ランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属している LAN ケーブルをお使いください。 ●再度本書の「2-1 設置・接続」（●2-2 ページ）をご覧のうえ配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。

## h. パソコンのIPアドレスが設定されていない

症状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。               <ol style="list-style-type: none"> <li>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「7-1 パソコンのネットワーク設定」(●7-2 ページ) をご覧のうえ再度パソコンのIPアドレスを確認してください。</li> <li>b. 「7-1 パソコンのネットワーク設定」(●7-2 ページ) をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。</li> </ol> </li> </ul>

## i. Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されない

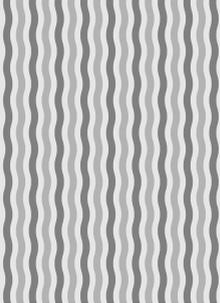
症状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「7-1 パソコンのネットワーク設定」(●7-2 ページ) をご覧のうえ確認してください。</li> <li>● Web ブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。(●7-7 ページ)</li> <li>● ダイアルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。(●7-7 ページ)</li> <li>● ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。</li> <li>● お客様のご利用環境によっては、「http://ntt.setup/」を入力しても「Web 設定」ページが表示されない場合があります。表示されない場合は、本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時)を入力してください。</li> <li>● 「工事のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事のため本商品の設定はできません。</li> </ul>
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されない または操作が正常にできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。(●7-8、7-11 ページ)</li> <li>● お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」(●1-7 ページ) をご覧のうえ確認してください。</li> </ul>

## 6-2 ご利用開始後のトラブル

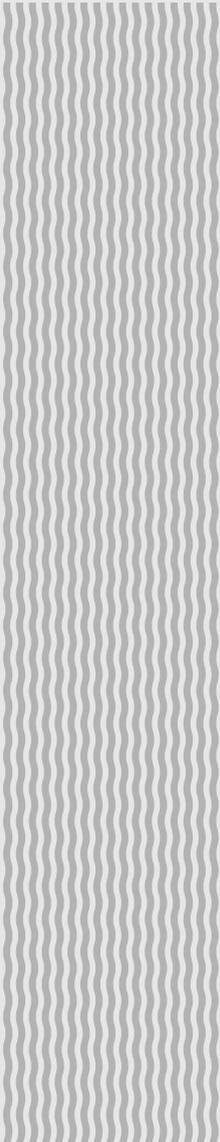
症 状	原因と対策
<p>使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.1.xxxは、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LAN内に手動で設定しているIPアドレスがあるかどうか確認してください。</li> <li>● [OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう1台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。              &lt;Windows® 7、Windows Vista® およびWindows® XPの場合&gt;             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</li> <li>② ipconfig /renew を入力して [Enter] キーを押します。</li> <li>③ IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。              &lt;Mac OS X 10.5の場合&gt;             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。</li> <li>② [Ethernet] を選択し、[詳細...] をクリックして [TCP/IP] タブをクリックします。</li> <li>③ [DHCPリースを更新] をクリックします。</li> <li>④ IPv4 アドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。              &lt;Mac OS X 10.4の場合&gt;             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。</li> <li>② [TCP/IP] タブをクリックして [表示] を [ネットワークポート設定] にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用] をクリックします。</li> <li>③ 再度、内蔵Ethernetのチェックを入れ、[今すぐ適用] をクリックします。</li> <li>④ [表示] を [内蔵Ethernet] にして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> </li></ul>
<p>ハンドセットを取りあげると「ピーピーピー」と音がする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。              「     」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。（ 5-6 ページ）</li> </ul>
<p>ファームウェアの更新ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品へのバージョンアップを行うことができない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。</li> <li>● 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。</li> </ul>
<p>アラームランプが赤点灯する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● INIT ランプも赤点灯している場合は、ファームウェアのバージョンアップ中です。              バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。</li> <li>● 本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。</li> </ul>

症 状	原因と対策
電話機からの設定がエラーとなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。</li> <li>● 設定値によっては電話機からの設定がエラーとなる場合があります。詳しくは、3-31 ページの「お知らせ」を参照してください。</li> </ul>
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。</li> </ul>
ひかり電話の音声品質が安定しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「Web 設定」の「電話設定」－「ひかり電話共通設定」の「音声優先モード」を「優先」または「最優先」に設定します。</li> </ul>
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。IP 端末の機能および「通知番号」の設定は、IP 端末の取扱説明書をご覧ください。</li> </ul>
無線 LAN 通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品側面の拡張カードスロットに SC-32NE が正しく装着されているか「4-3 本商品への無線 LAN カードの取り付け」(●4-4 ページ) をご覧のうえ、確認してください。</li> <li>● 上記を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は本商品に無線接続するひかり電話に対応した無線 IP 端末の取扱説明書を参照してください。</li> </ul>





# 7



## 付録

7-1	パソコンのネットワーク設定	7-2
7-2	ひかり電話用無線 IP 電話機などの 設定をする	7-12
7-3	設定値の保存・復元	7-13
7-4	本商品の初期化	7-15
7-5	電話機からの設定一覧	7-16
7-6	用語集	7-18
7-7	索引	7-23
7-8	仕様一覧	7-25
7-9	インターフェース	7-26
7-10	お客様サポートのご案内	7-27



## Windows® 7/Windows Vista® をご利用の場合

## ■パソコンのネットワークの設定をする

Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[ネットワークと共有センター] をクリックする

3 [アダプターの設定の変更] または [タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする

4 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックします。

5 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



7 [OK] をクリックする

8 [OK] または [閉じる] をクリックする



## お知らせ

●本書では、Windows® 7/Windows Vista® の通常表示モード (コントロールパネルホーム) を前提に記載しています。

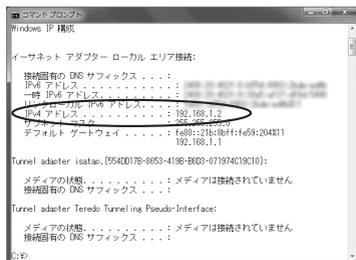
## ■ IPアドレスの確認ーパソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの【スタート】(Windows® のロゴボタン) – 【すべてのプログラム】 – 【アクセサリ】 – 【コマンドプロンプト】 を実行する

3 【コマンドプロンプト】の画面が表示されたら、【ipconfig /renew】と入力し、【Enter】キーを押す

4 【イーサネット アダプター ローカル エリア接続 :】が表示され、IPv4 アドレスが「192.168.1.xxx」になっていることを確認する (xxx は 2 ~ 254 の数字です)



5 【exit】と入力し、【Enter】キーを押す

## Windows® XP をご利用の場合

## ■ パソコンのネットワークの設定をする

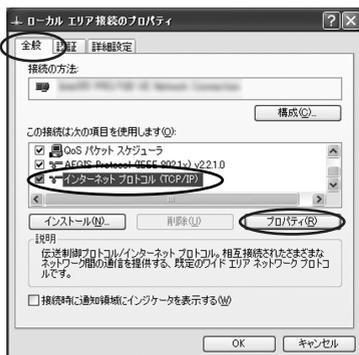
Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル(TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] または [閉じる] をクリックする

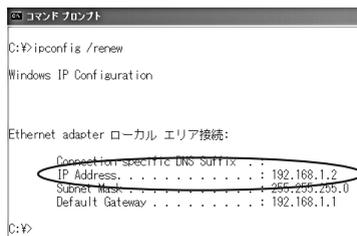
7

付録

## ■ IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する
- 2 パソコンの [スタート] – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] を実行する
- 3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、[ipconfig /renew] と入力し、[Enter] キーを押す

- 4 [Ethernet adapter ローカル エリア接続:] が表示され、IP アドレス (IP Address) が「192.168.1.xxx」になっていることを確認する (xxx は 2 ~ 254 の数字です)



```
コマンドプロンプト
C:\>ipconfig /renew
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . . . . .
    IP Address. . . . . : 192.168.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

C:\>
```

- 5 [exit] と入力し、[Enter] キーを押す

### お知らせ

●本書では、Windows® XPの通常表示モード(カテゴリー表示)を前提に記載しています。

## Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

以下は、Windows® 7で Internet Explorer® 9.0を使用している場合の例です。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

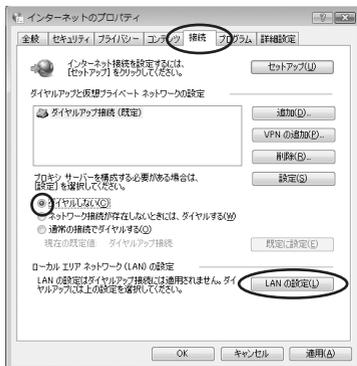
2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

## Windows® XPの場合

[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

3 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する

4 [LAN の設定] をクリックする



5 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを外し、[OK] をクリックする  
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、しなくてはなりません。



6 [OK] をクリックする  
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

## JavaScript™ の設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。

※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® 7で Internet Explorer® 9.0を使用している場合の例です。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

### Windows® XP の場合

[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

4 [サイト] をクリックする

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



6 [この Web サイトをゾーンに追加する] に「http://ntt.setup/」を入力して [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする

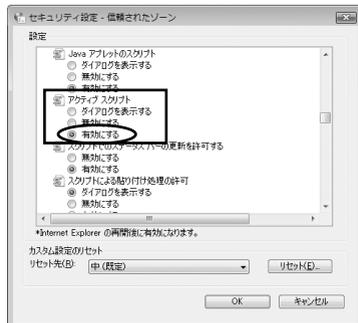
### Windows® XP の場合

[次の Web サイトをゾーンに追加する] に「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時) を入力して [追加] をクリックし、[OK] をクリックします。

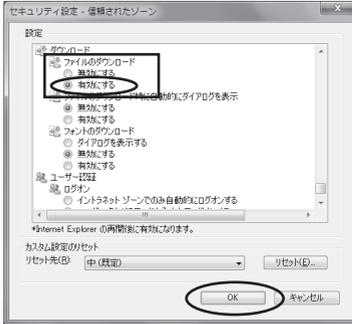


7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

8 画面をスクロールし、[アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更する



- 9 画面をスクロールし、[ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 10 警告ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックする

- 11 [OK] をクリックする

## Mac OS X をご利用の場合

### ■ パソコンのネットワークの設定をする

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [Ethernet] を選択し、[構成] を [DHCP サーバを使用] にする
- 3 [DNS サーバ] は表示されたまま変更せず、[検索ドメイン] を空白にする



- 4 [適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

### ■ IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する
- 2 アップルメニューから [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 3 [Ethernet] を選択して、[詳細...] をクリックし、[TCP/IP] タブをクリックして、IPv4 アドレスが [192.168.1.xxx] になっていることを確認する (xxx は 2 ~ 254 の数字です)



- 4 ウィンドウを閉じる

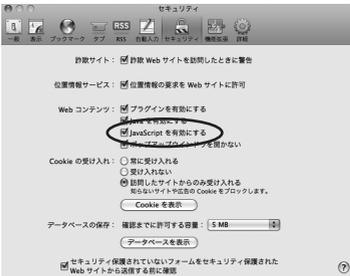
## JavaScript™ の設定をする (Mac OS)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。以下は Mac OS をご利用の場合です。Windows® をご利用の場合は、7-8 ページをご覧ください。

※Web ブラウザの設定で、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS X 10.6 で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの [Safari] – [環境設定] をクリックする
- 3 [セキュリティ] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 5 ウィンドウを閉じる



## ひかり電話用無線 IP 電話機などの 設定をする

本商品の無線 LAN の設定情報を作成し、ひかり電話用無線 IP 電話機などの無線 LAN の設定を行う際にご利用になれます。

詳細は「最初にお読みください」の「STEP2. ひかり電話に対応した無線 IP 端末を利用するための設定方法（無線 LAN の設定をする（本体のみ）」をご参照ください。

## 7-3 設定値の保存・復元

「Web 設定」で現在の本商品の設定内容をファイルに保存および復元できます。設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておく、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することも可能です。以下は、Windows® 7で Internet Explorer® 9.0 を使用している場合の例です。

### 設定値の保存

- 1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）を開く
- 2 メニューの [メンテナンス] - [設定値の保存&復元] を選択する
- 3 [ファイルに保存] をクリックする

ファイル保存用の通知バーが表示されない場合は、[ファイルに保存] を右クリックし、表示されるポップアップメニューの「対象をファイルに保存」をクリックしてください。



- 4 [保存] の右の▼をクリックして、[名前を付けて保存] をクリックする
- 5 ファイルの保存先を指定し、[保存] をクリックする
- 6 ダウンロード完了の通知バーが表示された場合は、×をクリックする

### 設定値の復元

- 1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）を開く
- 2 メニューの [メンテナンス] - [設定値の保存&復元] を選択する

- 3 [参照] をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定する



- 4 [開く] をクリックする

5

**【設定値の復元】をクリックする**

「設定値の復元を行ったあと、再起動を行います。よろしいですか?」と表示されます。

6

**【OK】をクリックする**

7

**【OK】をクリックする****お知らせ**

- 管理者パスワードは復元されません。
- 以下の設定は復元されない場合があります。復元後に必ず設定内容を確認してください。
  - ・無線ネットワーク名 (SSID)
  - ・事前共有キー (PSK)
  - ・ WEP キー
  - ・無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)
  - ・ファームウェアの更新種別
- 本商品を再起動すると、通話・通信が切断されます。
- 設定値を復元するときは、他機種のバックアップファイルを指定しないでください。正しく復元できません。
- ご契約の電話番号が変更・追加・削除になった場合、変更・追加・削除以前に保存した設定ファイルは使用しないでください。設定内容が正しく復元できない場合があります。
- お客様のご利用環境によっては設定値の保存・復元の際に時間がかかる場合があります。

## 7-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合や管理者パスワードを忘れてたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」の「メンテナンス」－「設定値の初期化」をご覧ください。

初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますので、設定内容をパソコンのハードディスクに保存しておくことを推奨します。

保存方法は「7-3 設定値の保存・復元」(●7-13 ページ)を参照してください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の設定が行われます。ひかり電話の設定が完了すると CONFIG ランプ、VoIP ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ひかり電話の設定がされている状態でも INIT ランプは赤点灯します。

### ■ 設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

- 1 いったん本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く
- 2 10 秒以上たってから、電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む
- 3 本商品前面の全ランプが点灯している間に、本商品背面の INIT スイッチを押す（INIT ランプが赤点灯するまで押し続ける）  
起動後、INIT ランプが赤点灯になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。  
故障の原因となることがあります。

### 🌀 お知らせ

- 本商品に設定した情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

# 7-5 電話機からの設定一覧

電話機から設定する場合の機能番号一覧を紹介します。

## 【ひかり電話の設定】

電話機からひかり電話の設定ができます。

### ●ひかり電話共通設定

機能番号	設定項目	機能番号	設定値・設定内容	操作終了
00	音声優先モード * * * 9 0 * 0 0 *		①：使用しない	# #
			②：優先	
			③：最優先	
01	優先着信ポート * * * 9 0 * 0 1 *		①：電話機 1 ポート	# #
			②：電話機 2 ポート	
			③：無効	

### ●内線設定（アナログ端末）

機能番号	設定項目	ポート番号	機能番号	設定値・設定内容	操作終了
91	ナンバー・ディスプレイ * * * 9 9 ① または ② * 9 ① *			①：使用する	# #
				②：使用しない	
92	モデムダイヤルイン * * * 9 9 ① または ② * 9 ② *			①：使用する	# #
				②：使用しない	
93	割込音通知 * * * 9 9 ① または ② * 9 ③ *			①：使用する	# #
				②：使用しない	
94	着信番号 * * * 9 9 ① または ② * 9 ④ *			(着信番号)	# #
95	指定着信機能 * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑤ *			(着信番号) * (指定着信番号)	# #
96	キャッチホン・ディスプレイ * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑥ *			①：使用する	# #
				②：使用しない	
97	ダイヤル桁間タイマ * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑦ *			④：4秒	# #
				⑤：5秒	
				⑥：6秒	
				⑦：7秒	
				⑧：8秒	
98	エコークャンセラ * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑧ *			①：使用する	# #
				②：使用しない	

機能番号	設定項目	ポート番号 *	機能番号 *	設定値・設定内容	操作終了
00	通知番号				
		(*) (*) (*) 9 9 ① または ② (*) ① ① (*)		(通知番号)	(#) (#)
01	内線番号				
		(*) (*) (*) 9 9 ① または ② (*) ① ① (*)		(内線番号)	(#) (#)
02	着信音選択				
		(*) (*) (*) 9 9 ① または ② (*) ① ② (*)		(着信番号) (*)	(#) (#)
				① IR ② SIR	

## 【バージョンアップの設定】

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップすることができます。

## ●ファームウェア更新種別を設定する

機能番号	設定項目	更新種別	設定値・設定内容	操作終了
-	自動更新			
		(*) (*) (*) 8 8 ②	① ① ~ ② ③ の2桁 (24時間を2桁で入力します。)	(#) (#)
-	手動更新			
		(*) (*) (*) 8 8 ⑨	-	(#) (#)

## ●バージョンアップ方法（「手動更新」の場合）

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
-	バージョンアップ		
		(*) (*) (*) ① ①	-

## 7-6 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

### 【アルファベット順】

AES	Advanced Encryption Standardの略。 WPA-PSKで使用する暗号化方式の1つ。AESはTKIPやWEPと比べて、より解読されにくいものになっている。
ANY 接続拒否	無線LAN端末からのANY接続（どの無線LANアクセスポイントにも接続できる特殊なSSID）を拒否する機能。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略。 TCP/IPプロトコルを使用する各機器は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。DHCPは、IPアドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合、IPアドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IPアドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。
DHCP クライアント	DHCPサーバによりIPアドレスを割り当てられるシステム。
DHCP サーバ	DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
DNS	Domain Name Systemの略。 IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
DNS サーバ	ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバ。
IEEE802.11a	無線LANの規格の1つ。 5.2GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大54Mbps。
IEEE802.11b	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で11Mbps。
IEEE802.11g	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で54Mbps。
IP	Internet Protocolの略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IPアドレスにより相手先を判断する。

IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32 bitの値をもち、8 bit ずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。(例：192.168.1.10)
IPマスカレード	NAT (IPアドレス変換) 機能の1つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側IPアドレスに対して複数のLAN側の端末を接続することが可能となる機能。
LAN	Local Area Networkの略。 1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア (LANカードなど) につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MACアドレスフィルタリング	無線LAN通信においてサーバが通信が可能な端末をMACアドレスで指定し、通信を受けたくない無線LAN端末などからの通信を防ぐ機能。
NTP	Network Time Protocolの略。 ネットワークを介して時刻を調整するプロトコル。具体的には、クライアントの内部時計を、インターネット上に存在するNTPサーバを介して時刻を調整する。
SIP	Session Initiation Protocolの略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つ。RFC3261で仕様が公開されている。
TCP	Transmission Control Protocolの略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。 インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocolの略。 WPA-PSKで使用される暗号化方式の1つ。TKIPは、WEPでも使用されているRC4という暗号化アルゴリズムを採用している。
VoIP	Voice over Internet Protocolの略。 インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。

---

WAN	Wide Area Network の略。 地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。
Web ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer® がよく使われている。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。 ユーザが指定した任意の文字列（WEP キー）を本商品と無線 LAN 端末に登録することによって、WEP キーが一致した場合のみ通信できるようになる。
WEP キー	WEP で用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録したうえで通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Access の略。 通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key の略。 WPA セキュリティ設定の認証方式の 1 つ。Pre-Shared Key を使うので、認証サーバを用意しなくても WPA セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK には、AES や TKIP などの暗号化がある。
10BASE-T	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、10 Mbps の伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbps の伝送速度をもつ。

**【あいうえお順】****【あ行】**

イーサネット (Ethernet)	LANの通信方式。10BASE-Tや100BASE-TXなどの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線LAN端末から無線LANアクセスポイントを経由して行う無線LANの通信。
エコーキャンセラ	自分側の音声、通信相手側の回線を介して反響するのを取り除くこと。

**【か行】**

加入者網終端装置 (CTU)	回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置。
クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタなど）を受けるコンピュータ。
ゲートウェイ	プロトコルの異なるLANどうしやLANとWANとを接続する装置。

**【さ行】**

サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。
サブネット	大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末のアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。
自動設定	本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができる。
自動設定サーバ	本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。
静的IPマスカレード	IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
セッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

## 【た行】

### チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線 LAN を狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャンネルどうしの帯域が重ならないような使用を推奨する。

### ドメイン

「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

## 【は行】

### パスワード

コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。  
パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせることで設定することや、定期的に変更することが望ましい。

### ひかり電話

NTT 東日本 / NTT 西日本提供の IP 電話サービス。

### ファームウェア

本商品を動作させるためのソフトウェア。

### ファイアウォール

外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。  
LAN とインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。

### プロキシサーバ

各装置から SIP プロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。

### プロトコル

通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。

### プロバイダ

インターネットの接続サービスを提供している事業者。

### ポート番号

TCP/IP において、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

## 【ま行】

### 無線 LAN アクセスポイント

有線 LAN とインフラストラクチャ通信に設定した無線 LAN 端末との通信の中継や、無線 LAN 端末どうしの通信の管理を行う。

### 無線ネットワーク名 (SSID)

SSID は Service Set Identifier の略。  
無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名 (SSID) を設定して使用する。

# 7-7 索引

 の付いている用語は最新の「機能詳細ガイド」に記載されています。

## [数字]

10/100BASE-T ランプ ..... 1-5

## [A～Z]

AD-200NE 専用 CD-ROM

..... 21、23、1-2

CONFIG ランプ ..... 1-4、3-2

INIT スイッチ ..... 1-5

INIT ランプ ..... 1-4

IP アドレス ..... 7-4、7-6、7-10、

IP アドレスの確認

Mac OS X ..... 7-10

Windows® 7/Windows Vista® ..... 7-4

Windows® XP ..... 7-6

IP マスカレード ..... 7-19、

JavaScript™ ..... 7-8、7-11

LAN ケーブル ..... 1-2、2-3

LAN ポート ..... 1-5、2-3、7-26

パソコンの〜 ..... 1-6

LINK ランプ ..... 1-5

PSK ..... 4-7

SC-32NE ..... 16、1-3、1-6、4-4

SSID ..... 4-7

TKIP ..... 4-7

VoIP ランプ ..... 1-4、3-2

WAN ポート ..... 1-5、2-3、7-26

WAN ランプ ..... 1-4、3-2

Web 設定 ..... 4-6、

Web ブラウザ ..... 1-7、7-7

WEP ..... 

WPA-PSK ..... 4-7

## [ア行]

アラームランプ ..... 1-4

一斉着信 ..... 3-13

インタフェース ..... 7-26

お客様サポート ..... 7-27

## [カ行]

回線に接続する ..... 2-3

拡張カードスロット ..... 1-5、4-4

各部の名前 ..... 1-4

管理者パスワード ..... 4-6

加入者網終端装置 (CTU) ..... 2-3

機能詳細ガイド ..... 21

キャッチホン ..... 3-6

キャッチホン・ディスプレイ ..... 3-12

故障かな?と思ったら ..... 6-1

個別着信 ..... 3-12

ご利用開始後のトラブル ..... 6-6

## [サ行]

指定着信機能 ..... 3-16

仕様一覧 ..... 7-25

初期化 ..... 7-15

スタンド ..... 1-2、2-2

静的 IP マスカレード ..... 7-21、

接続

回線に〜する ..... 2-3

本商品とパソコンの〜を確認する

..... 7-4、7-6、7-10

接続可否番号一覧 ..... 3-4

設置する ..... 2-2

設置に関するトラブル ..... 6-2

設定する

JavaScript™ ..... 7-8、7-11

Web ブラウザ ..... 7-7

電話機からひかり電話の〜 ..... 3-27

内線番号 ..... 3-11

パソコンからひかり電話の〜 ..... 3-18

パソコンのネットワーク	
Mac OS X	7-10
Windows® 7/Windows Vista®	7-3
Windows® XP	7-5
ひかり電話用無線 IP 電話機などの～	
～	7-12
複数の電話機での同時着信や使い分け	
を～	3-32
無線 LAN	4-6
設定値	
復元	7-13
保存	7-13
セットの確認	1-2

### 【夕行】

対応 OS の確認	1-7
着信鳴り分け	3-13
追加番号	3-10
電源アダプタ	1-2
電源アダプタ端子	1-5
電源ランプ	1-4、3-2
電子マニュアル	23
電話機ポート	1-5、2-3、7-26

### 【ナ行】

内線通話	3-5
内線転送	3-5
ナンバー・ディスプレイ	3-8

### 【ハ行】

バージョンアップ	5-1
当社ホームページよりファイルを ダウンロードして～する	5-7
バージョンアップお知らせ機能を 利用して～する	5-3
パソコンの準備	1-6
発信者情報（番号）の通知	3-9
ひかり電話	
受けかた	3-3
かけかた	3-2
設定	3-18、3-27、3-32

使いかた	3-2
電話番号	3-11
発信できるサービス	3-4
複数チャンネル	3-9
フッキング	3-5、3-7

### 【マ行】

まるごと設定ツール	23、1-7、4-2
無線 IP 端末	7-12
無線 LAN カード	1-3、4-4、4-5
取り付け	4-4
取り外す	4-5
無線 LAN の設定	4-6
無線 LAN ポート	7-25
メディア変更機能	3-17
モデムダイヤルイン	3-13

### 【ヤ行】

優先着信ポート	3-14
用語集	7-18

### 【ラ行】

ランプ表示	1-4、1-5、3-2
-------	-------------

### 【ワ行】

割込音通知	3-12
-------	------

# 7-8 仕様一覧

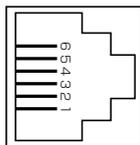
## ■ AD-200NE

項 目		仕 様
WAN ポート	物理インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45)
	ポート数	1ポート
	規格	100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3u / IEEE802.3) オートネゴシエーション
LAN ポート	物理インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45)
	ポート数	4ポート (スイッチングハブ内蔵)
	規格	100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3u / IEEE802.3) オートネゴシエーション
無線LAN ポート	物理インタフェース	PC Card Standard (CardBus) スロット ※オプションの無線LANカードSC-32NE専用
	スロット数	1スロット
電話機 ポート	物理インタフェース	6ピンモジュージャック (RJ-11)
	ポート数	2ポート
	供給電圧	約 - 48 V (無負荷時)
ランプ 表示	電源ランプ	電源通電時緑点灯
	アラームランプ	装置障害時赤点灯
	VoIPランプ	ひかり電話利用可能時緑点灯、 ひかり電話通話中 / 着信中 / 呼び出し中緑点滅
	WANランプ	WAN回線利用可能時緑点灯、 WAN回線でデータ通信中緑点滅
	CONFIGランプ	ひかり電話設定完了時緑点灯、 ひかり電話設定中緑点滅、ひかり電話設定失敗時赤点灯 / 赤点滅
	INITランプ	工場出荷状態赤点灯
操作部	INIT	設定初期化用スイッチ
筐体外観		縦置き型
動作環境		温度：0～40℃ 湿度：20～85% (結露しないこと)
外形寸法		約42 (W) × 177 (D) × 219 (H) mm (突起部分を除く)
電源		AC100 ± 10 V 50/60 Hz
消費電力		最大12 W
質量		約1.1 kg (電源アダプタ含む)
電磁妨害波規格		VCCIクラスB

## 7-9 インタフェース

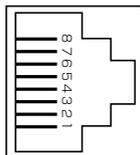
### コネクタ形状

#### ●電話機ポート



ピン番号	略称	入出力
1	—	未使用
2	—	未使用
3	L2	入力/出力
4	L1	入力/出力
5	—	未使用
6	—	未使用

#### ●WANポート、LANポート (100BASE-TX / 10BASE-T)



ピン番号	略称	入出力
1	TD +	入力
2	TD -	入力
3	RD +	出力
4	—	未使用
5	—	未使用
6	RD -	出力
7	—	未使用
8	—	未使用

## 7-10 お客様サポートのご案内

### ●お客様サポートについて

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

#### ●本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-248995**

(携帯電話・PHSからも利用可能です。)

※接続後の音声ガイダンスに従い、

- ・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせの場合・・・「4」を選択
- ・ひかり電話の故障に関するお問い合わせの場合・・・「1」を選択

受付時間

・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：

9:00～17:00（年末年始12月29日～1月3日を除く）

・故障に関するお問い合わせ：

24時間（年中無休）\*

※故障修理対応時間は9:00～17:00です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

**当社ホームページ**：<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

©2011 NTTWEST



本2725-7 (2011.9)

AD-200NEHJセツ